
江別市まちづくり市民アンケート調査結果

平成24年1月

江別市

目 次

I 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査概要	1
3 回収状況	1
4 留意点	1
II 調査結果のまとめ	2
1 江別市の住み心地【問1】	2
2 江別市への定住意識【問2】	4
3 江別市に住むようになった理由【問16】	6
4 江別市の生活環境や行政サービスの満足度・重要度【問3】	8
5 日常生活での行き先と移動手段【問4】	12
6 日常生活での歩いていける範囲【問5】	21
7 将来の江別市のイメージ【問6】	24
8 今後の市街地開発の方向性【問7】	26
9 江別市の計画づくりやまちづくりの取り組みへの参加意向【問17】	28
10 江別市の計画づくりやまちづくりの取り組みへの関わり方【問18】	30
11 市の計画づくりやまちづくりの取り組みにあまり関わりたくない理由【問19】 ..	32
12 自由意見の傾向【問8】	34
III 回答者属性	36
1 性別【問9】	36
2 年代【問10】	36
3 職業【問11】	37
4 居住地区【問12】	37
5 居住状況【問13】	38
6 家族構成【問14】	38
7 居住期間【問15】	39
資 料 編	41
1 問3 江別市の生活環境や行政サービスなどの満足度重要度	42
2 調査票	47

I 調査概要

1 調査目的

平成 26 年度からの「新しい総合計画」の策定および「江別市都市計画マスタープラン」の見直しを進めるにあたり、「江別市自治基本条例」の理念に基づき、多くの市民の意見を反映させるべく、市の現状に対する市民の皆様の満足度や、将来のまちづくりに対する考え方等を把握するために実施しました。

2 調査概要

(1) 調査対象

平成 23 年 9 月 1 日現在、江別市の住民基本台帳に登録されている 18 歳以上の方 (5,000 人)

(2) 対象者抽出方法

無作為抽出

(3) 主な調査項目

- ・ 住み心地、居住理由
- ・ 生活環境や行政サービスの満足度・重要度
- ・ 日常生活の中での行き先と移動手段
- ・ 将来のまちづくりについて
- ・ 回答者属性 (性別、年代別、職業別、居住地別、居住年数別)

(4) 調査方法

郵送配布・郵送回収

(5) 調査実施期間

平成 23 年 10 月 1 日～11 月 1 日

3 回収状況

配布数	5,000 件
回収数	1,825 件
回収率	36.5%

4 留意点

- ① 図表における構成比は、原則として小数点第 2 位を四捨五入して表示しています。
- ② 複数回答の設問については、合計値が、100.0%となりません。
- ③ 報告の順序は、報告のわかりやすさの観点から、調査票の設問順と異なっています。
- ④ 10 代については、標本数 (回収数) が、41 件と少ないため、データの信頼性から、分析結果に留意が必要となります。

Ⅱ 調査結果のまとめ

1 江別市の住み心地【問1】

江別市の住み心地については、「満足」・「ほぼ満足」・「ふつう」の合計が85.3%、不満要因である「やや不満」と「不満」の合計が14.7%という状況になっています。

平成13年の調査との比較では、「満足」と「ほぼ満足」の合計が4.7%高くなり、「やや不満」と「不満」の合計が4.4%低くなり、住み心地は、10年前より向上していると思われます。

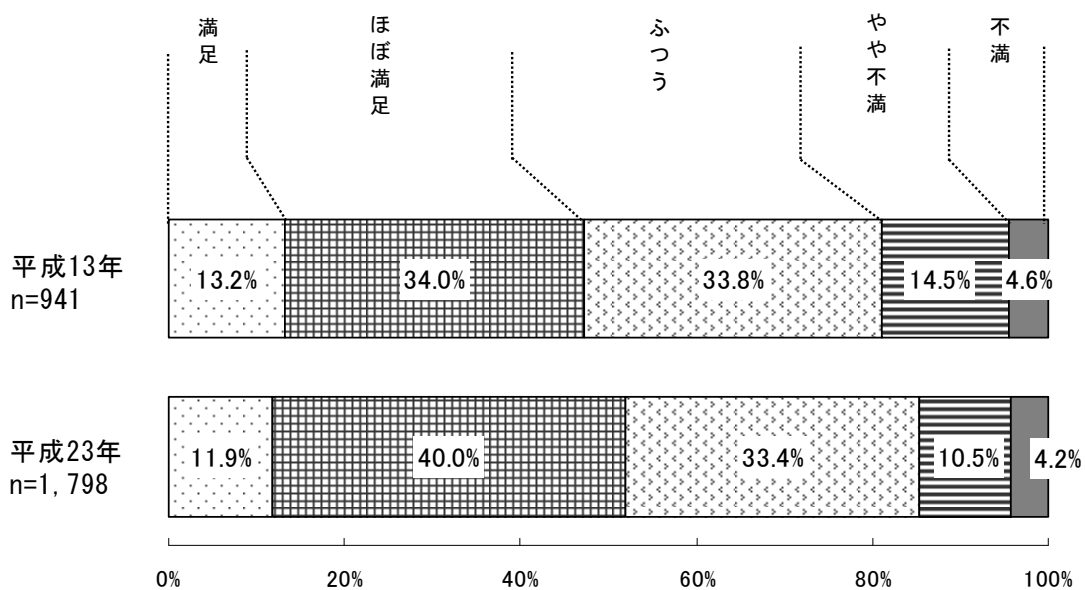
【年代別】

- 20代、50代では、「満足」と「ほぼ満足」の合計が、全体より少し低く、「やや不満」と「不満」の合計が高い傾向にあります。

【地区別】

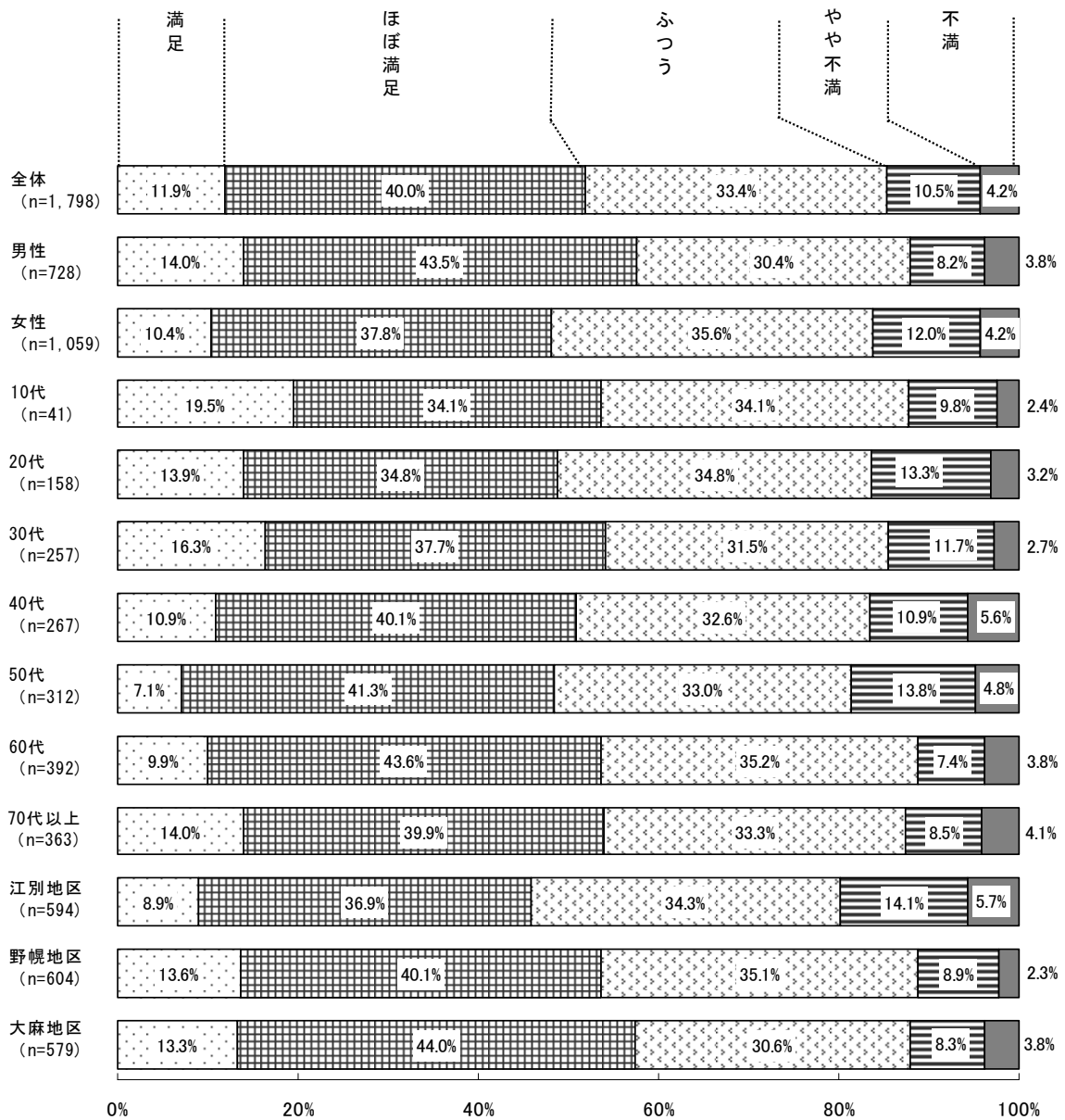
- 江別地区では、「満足」と「ほぼ満足」の合計が、全体より少し低く、「やや不満」と「不満」の合計が高い傾向にあります。

図表 Ⅱ－1 江別市の住み心地



※本設問は、過去との比較のため、「わからない」「無回答」を除いた値を分母としています。

図表 II-2 江別市の住み心地（性別、年代別、地区別）[単数回答]



※本設問は、過去との比較のため、「わからない」「無回答」を除いた値を分母としています。

2 江別市への定住意識【問2】

江別市の定住意識は、「ずっと住みたい」が36.2%、「できるなら住みたい」が51.3%で、定住志向は87.5%となっています。

平成13年、平成19年の調査との比較では、定住志向（「ずっと住みたい」「できるなら住みたい」の合計）は、2.4%低くなっていますが、定住志向全体としては『ほぼ横ばい』で推移しています。

平成19年の調査との比較では、「ずっと住みたい」が16.9%低くなり、「できるなら住みたい」が14.5%高くなっています。

近隣市（千歳市、北広島市）との定住志向の比較では、江別市の定住志向が高い傾向が見られます（※選択肢は各市で異なります）。

【年代別】

- 10代、20代では、転居志向が高くなっています。
- 60代以上では、定住志向が高く、90%を超えています。

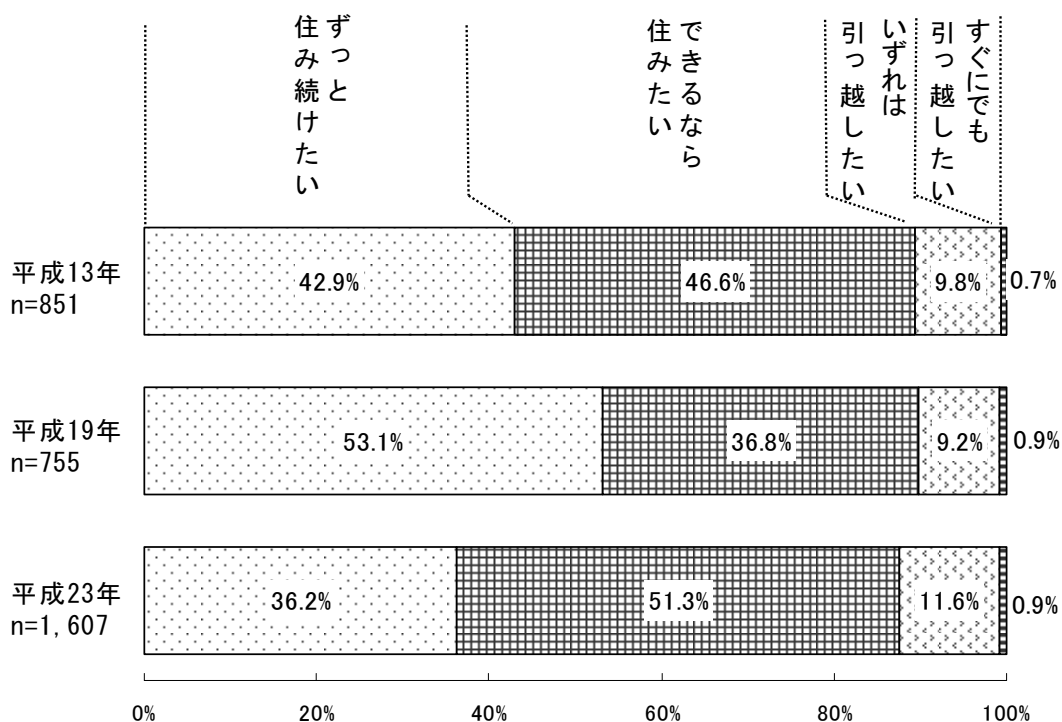
【地区別】

- 江別地区の転居志向が、他の地区と比較して若干高くなっています。

【近隣市比較】

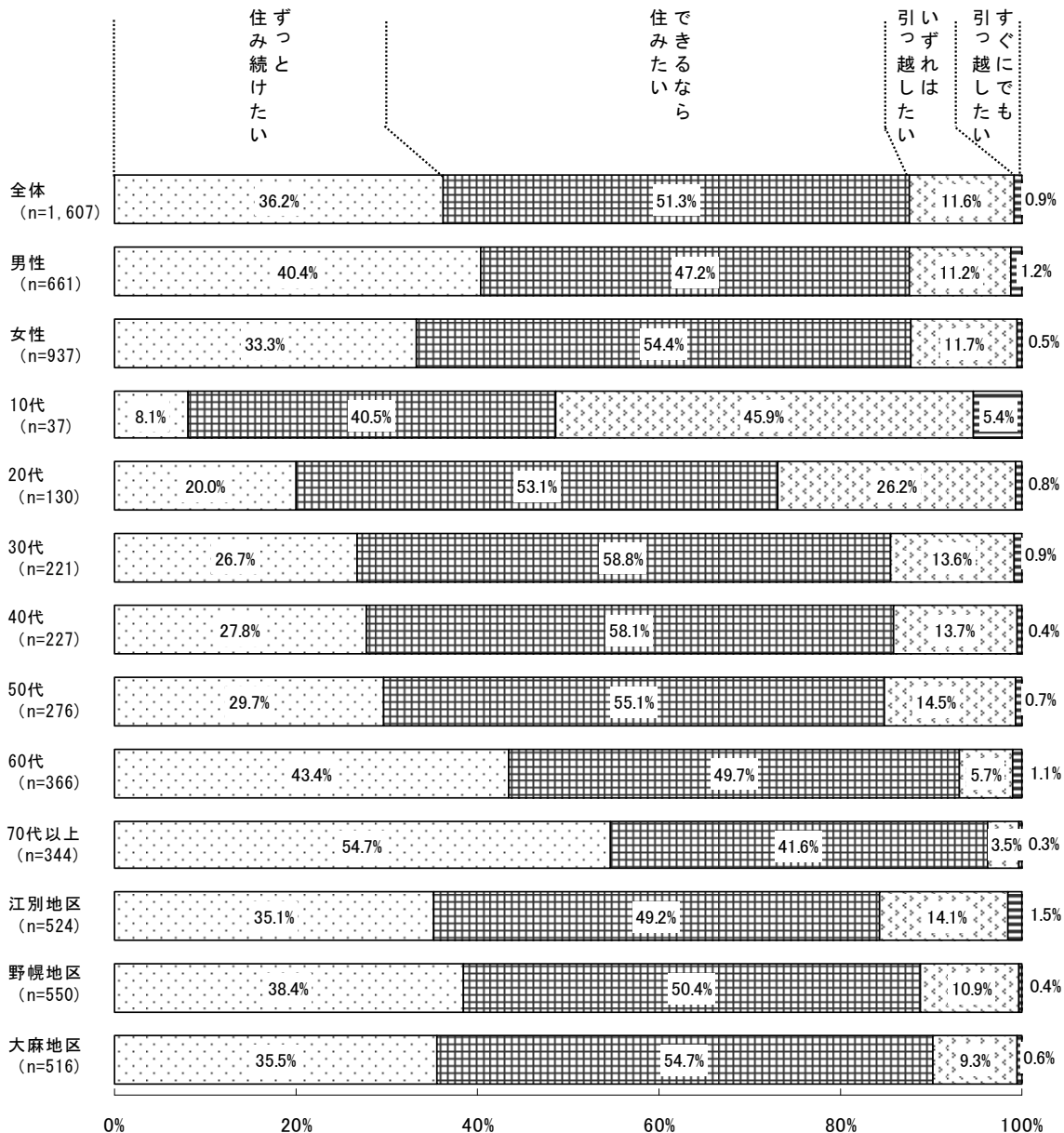
江別市	87.5% (ずっと住みたい 36.2% + できるなら住みたい 51.3%)
千歳市	79.7% (今の場所に住みたい 64.0% + 市内の別の場所に移りたい 15.7%)
北広島市	78.3% (今の場所に住みたい 73.3% + 市内の別のところに移りたい 5.0%)

図表 II-3 江別市への定住意識



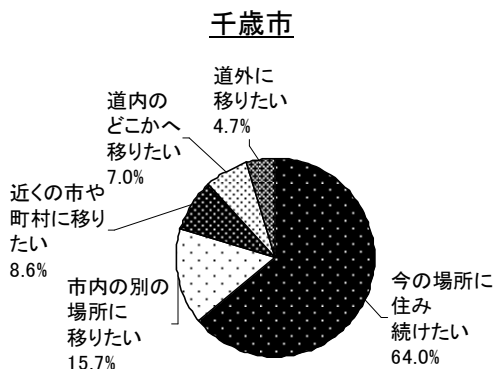
※本設問は、過去との比較のため、「わからない」「無回答」を除いた値を分母としています。

図表 II-4 江別市への定住意識（性別、年代別、地区別）[単数回答]

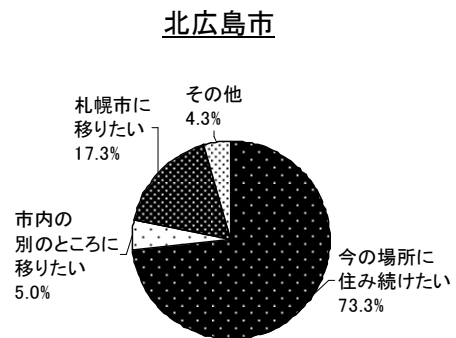


※本設問は、過去との比較のため、「わからない」「無回答」を除いた値を分母としています。

《参考》近隣市の定住意識



出典: 千歳市ホームページ
千歳市民まちづくりアンケート 平成21年2月
※無回答を除く



出典: 北広島市ホームページ
市民意識調査・公益活動団体意識調査平成21年2月
※わからない・無回答を除く

3 江別市に住むようになった理由【問 16】

江別市への居住理由では、「実家がある（あった）」が 30.7%、「希望する物件（土地・戸建・マンション・賃貸など）があったから」が 29.9%、「就職・転勤・進学などの関係で」が 20.5%と上位となっています。

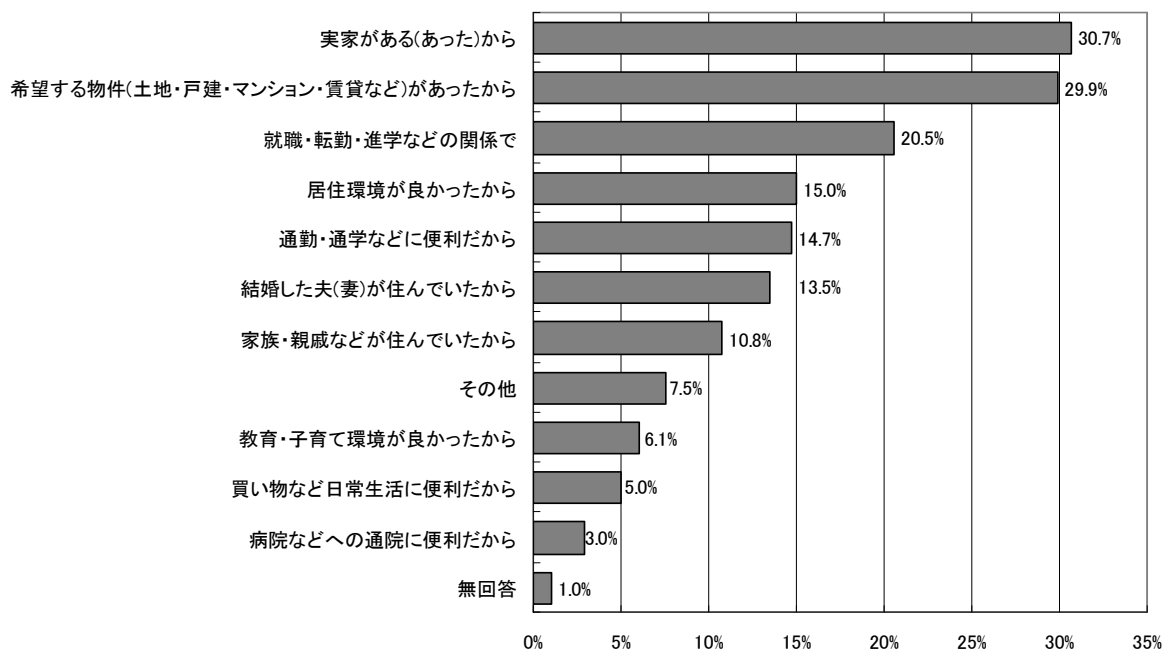
【年代別】

- 10 代、20 代、30 代では、「実家があるから（あったから）」、「家族・親族がいたから」の割合が高くなっています。
- 40 代以上で、「希望する物件があったから」の割合が高くなっています。

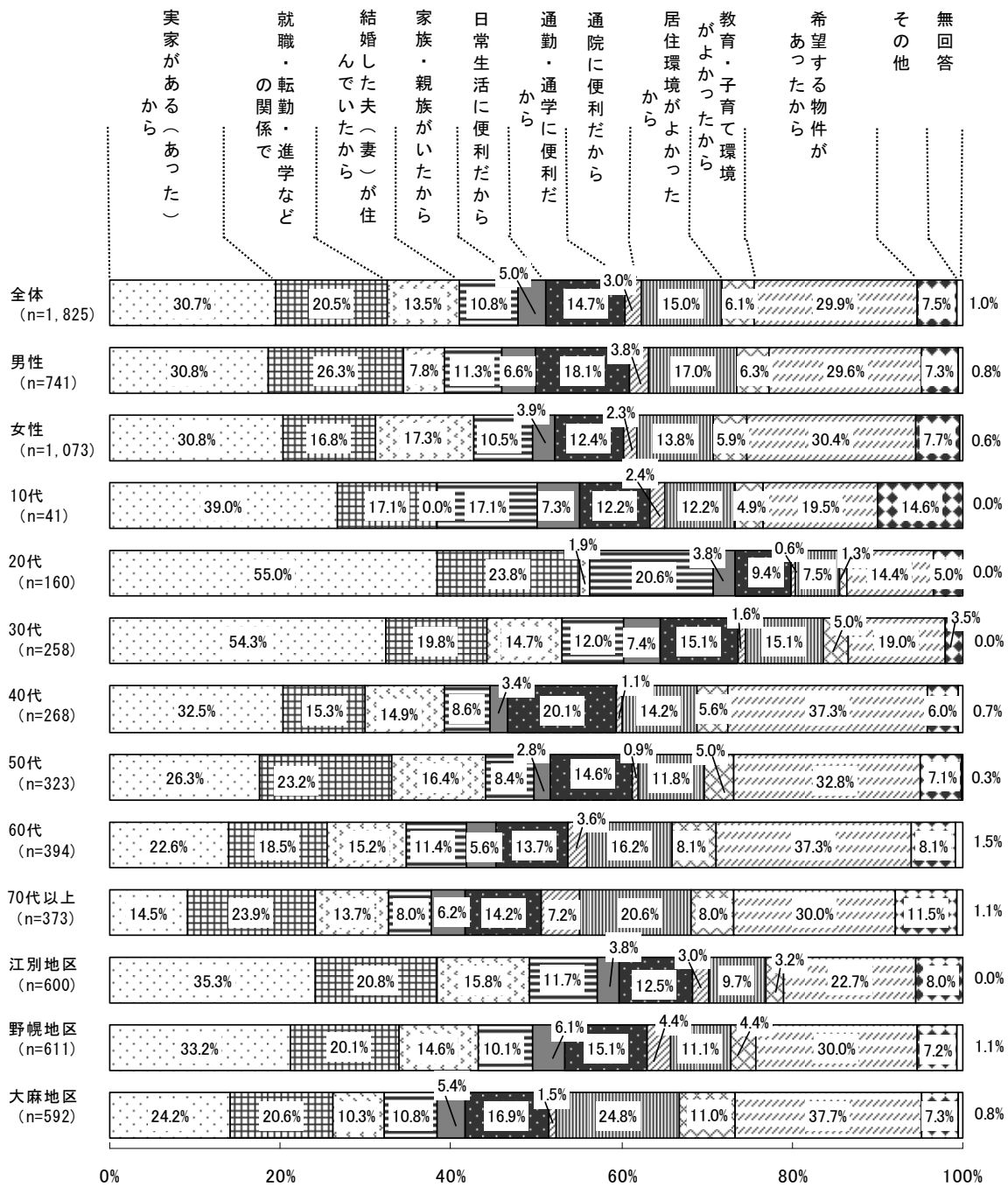
【地区別】

- 江別地区では、「実家がある（あった）から」が 35.3%と高くなっており、「希望する物件があったから」が 22.7%、「居住環境がよかったから」が 9.7%と低くなっています。
- 大麻地区では、「希望する物件があったから」が 37.7%、「居住環境がよかったから」が 24.8%と高くなっています。

図表 II-5 居住理由別回答者割合 [複数回答]

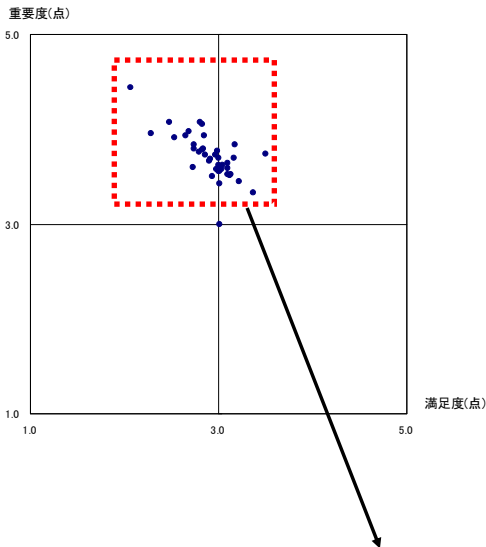


図表 II-6 居住理由別回答者割合（性別、年代別、地区別）[複数回答]



4 江別市の生活環境や行政サービスの満足度・重要度【問3】

(1) 全体傾向



満足度、重要度ともに、5 点満点で計算した場合の平均値は、下記となっています（中間値は、3.00 点）。

満足度平均 2.91 点

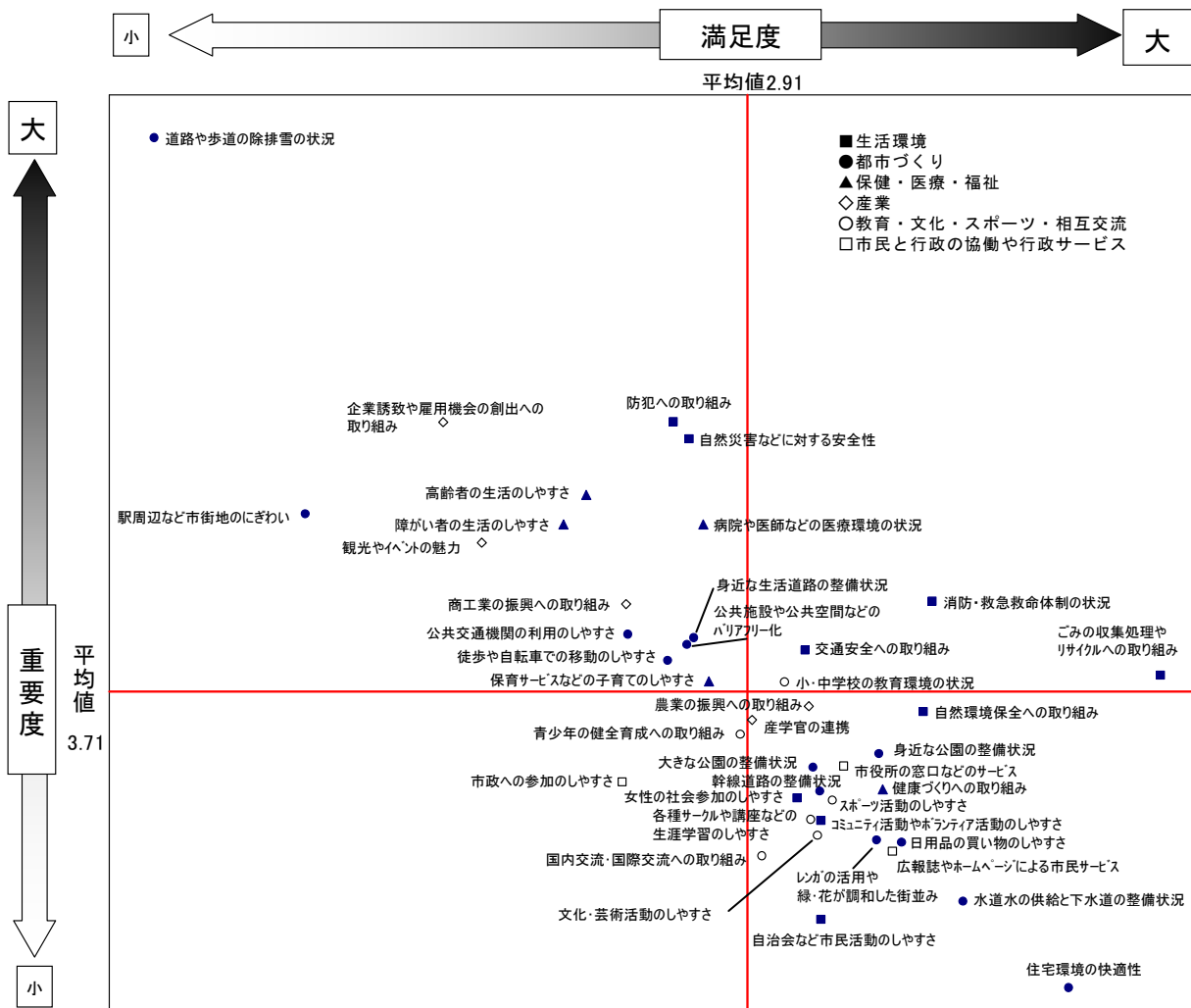
重要度平均 3.71 点

■得点算出方法

下記のように選択肢を点数化し、平均点を算出

現在の満足度		今後の重要度	
1 満足している	5点	1 力を入れてほしい	5点
2 どちらかといえば満足している	4点	2 どちらかといえば力を入れてほしい	4点
3 普通である	3点	3 今のままでよい	3点
4 どちらかといえば不満である	2点	4 あまり力を入れる必要はない	2点
5 不満である	1点	5 力を入れる必要はない	1点
無回答(不明)	除外	無回答(不明)	除外

図表 II-7 施策別満足度重要度マトリクス



(2) 分野別満足度の全体傾向

満足度が高い3施策は、下記となっています。

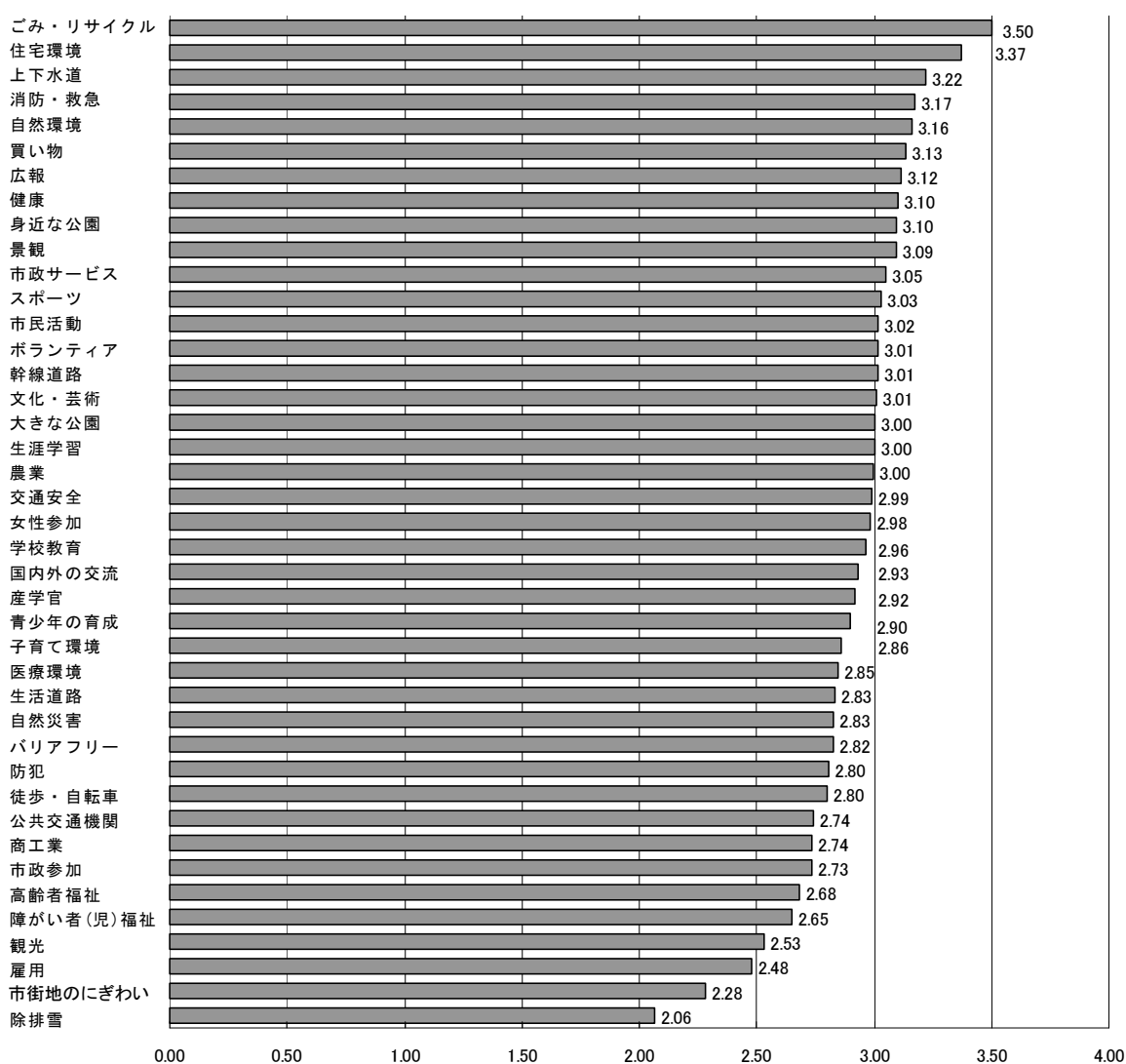
- ・「ごみの収集処理やリサイクルへの取り組み（ごみ・リサイクル）」 3.50 点
- ・「住宅環境の快適性（住宅環境）」 3.37 点
- ・「水道水の供給と下水道の整備状況（上下水道）」 3.22 点

満足度が低い3施策は、下記となっています。

- ・「道路や歩道の除排雪の状況（除排雪）」 2.06 点
- ・「駅周辺などの市街地のにぎわい（市街地）」 2.28 点
- ・「企業誘致や雇用機会への取り組み（雇用）」 2.48 点

中間値の 3.00 点以上の分野は、41 分野中 19 分野で、46.3%が、中間（ふつう）以上の回答をいただいています。

図表 II-8 施策別満足度について [単数回答]



(3) 分野別重要度の全体傾向

重要度が高い3施策は、下記となっています。

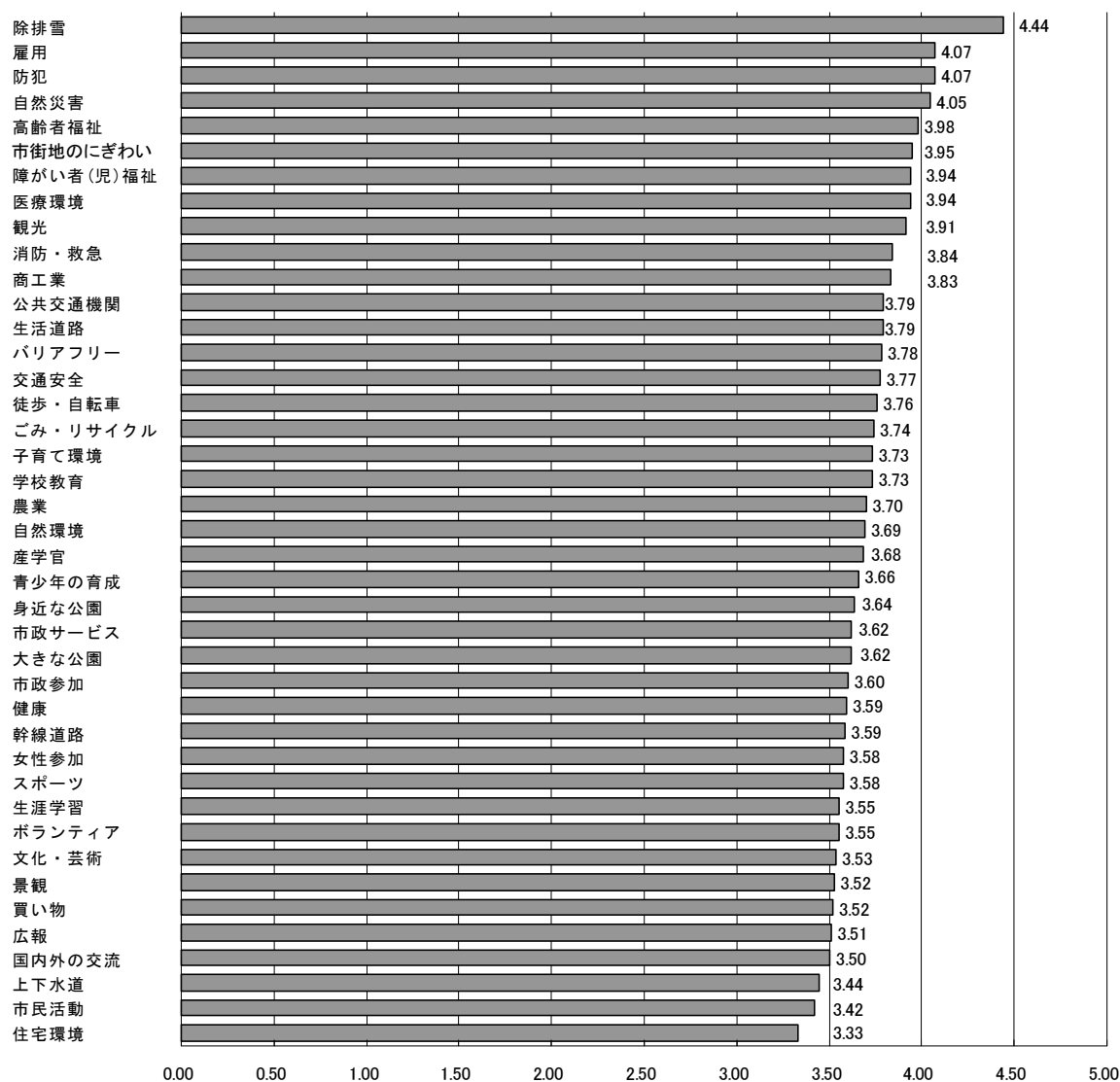
- ・「道路や歩道の除排雪の状況（除排雪）」4.44点
- ・「企業誘致や雇用機会への取り組み（雇用）」4.07点
- ・「防犯への取り組み（防犯）」4.07点
- （4位「自然災害などに対する安全性（自然災害）」

重要度が低い3施策は、下記となっています。

- ・「住宅環境の快適性（住宅環境）」3.33点
- ・「自治会などの市民活動のしやすさ（市民活動）」3.42点
- ・「水道水の供給と下水道の整備状況（上下水道）」3.44点

重要度は、他市においても、中間値3.00点を下回することは、ほぼない状態であり、決して重要度が高いという傾向にはありません。

図表 II-9 施策別重要度について [単数回答]



(4) 分野別満足度・重要度の性別、年代別、地区別等による特徴

全体傾向と比較した際に、性別や年代、地区等で、10%程度の差が見られる分野は、下記のとおりです。

回答者数が少ない10代での特徴は見られますが、それ以外の性別、年代別、地区別の満足度・重要度の特徴は小さい傾向となっています。

対象	満足度	重要度
10代 ※回答者数 41名	【満足傾向】 「徒歩・自転車」、「上下水道」、 「生活道路」、「住宅環境」、 「幹線道路」、「ごみ・リサイクル」 【不満傾向】 「除排雪」	【力を入れてほしい】 「公共交通機関」、「除排雪」 「自然災害」、「広報」、「上下水道」 「商工業」、「市政参加」 【力をいれる必要性が少ない】 「市政サービス」、「雇用」 「ごみ・リサイクル」
20代	【不満傾向】 「除排雪」	【力を入れてほしい】 「除排雪」
30代		【力を入れてほしい】 「除排雪」
40代	【不満傾向】 「医療」	
70代以上	【不満傾向】 「除排雪」	【力をいれる必要性が少ない】 「除排雪」
江別地区	【不満傾向】 「市街地のにぎわい」	
野幌地区		【今のままでよい】 「買い物」

(5) 住み心地と分野別満足度・重要度の考察

住み心地の回答結果と分野別満足度・重要度について、全体傾向と比較して、20%以上の差がみられる分野は、下記のとおりです。

		満足度	重要度
住 み 心 地	やや不満	【とても不満】 「除排雪」、「公共交通機関」 「買い物」、「医療環境」 「高齢者福祉」	
	不満	【とても不満】 「自然災害」、「生活道路」 「幹線道路」、「徒歩・自転車」 「バリアフリー」、「除排雪」 「公共交通機関」、「買い物」 「市街地」、「医療環境」 「子育て環境」、「高齢者福祉」 「障がい者（児）福祉」 「雇用」、「観光」	【力を入れてほしい】 「生活道路」、「幹線道路」 「徒歩・自転車」、「除排雪」 「公共交通機関」、「買い物」 「市街地」、「高齢者福祉」 「障がい者（児）福祉」 「雇用」、「観光」

5 日常生活での行き先と移動手段【問4】

(1) 日用品（食料品など）の買い物の行き先と移動手段

江別市民の日用品（食料品など）の買い物の行き先では、江別市内がほとんどであり、次に、新札幌等の札幌市（都心部以外）となっており、この2カ所で、97%を超えています。

移動手段については、主な行き先別に下記が上位を占めています。

■江別市内

1位 車・バイク 65.9% 2位 徒歩 14.2% 3位 自転車 14.1%

■札幌市都心部（札幌駅・大通・すすきの周辺）

1位 JR 75.0% 2位 バス 14.3% 3位 車・バイク 10.7%

■札幌市（都心部以外）

1位 車・バイク 82.0% 2位 JR 8.2% 3位 バス 4.9%

【地区別】

- 大麻地区では、札幌市（都心部以外）が7.4%となっており、他地区より高くなっています。

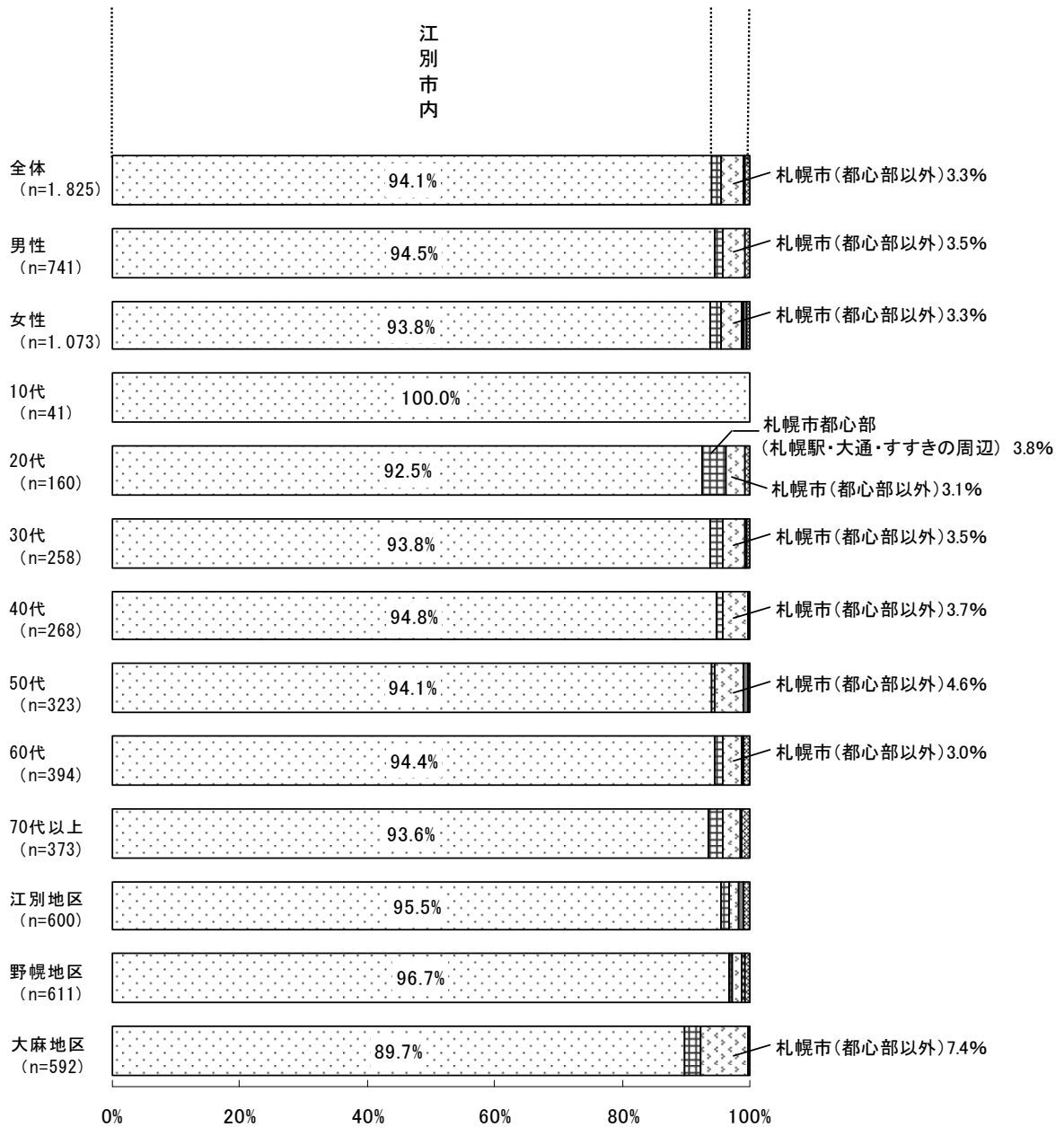
【年代別】

- 10代では、自転車利用の比率が、全体より32.9%高くなっています。
- 70代以上では、徒歩の比率が、全体より9.7%高く、バス、タクシーの利用比率も高くなっています（車・バイクの比率は低くなっています）。

図表 II-10 日用品の買い物の行き先と移動手段について[単数回答]

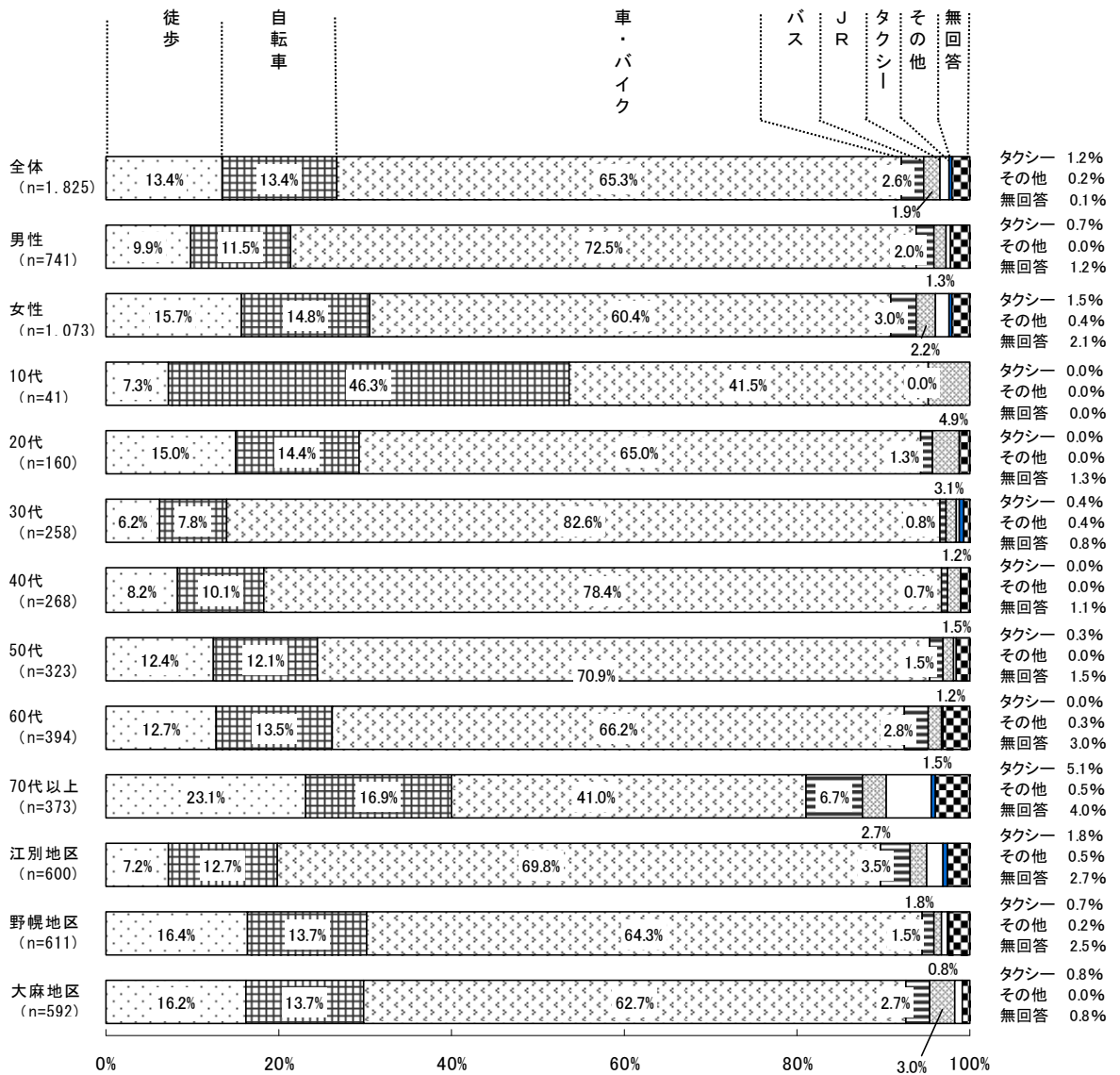
	合計 (人)	徒歩	自転車	車 ・バイク	バス	JR	タクシー	その他	無回答
1. 江別市内	1,717	14.2%	14.1%	65.9%	2.3%	0.5%	1.2%	0.2%	1.6%
2. 札幌市都心部(札幌駅・大通・すすきの周辺)	28	0.0%	0.0%	10.7%	14.3%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3. 札幌市(都心部以外)	61	1.6%	3.3%	82.0%	4.9%	8.2%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 北広島市	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5. 岩見沢市	5	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6. その他市町村	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7. 無回答	12	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

図表 II-11 日用品の買い物の行き先 [単数回答]



※江別市以外の数値については、3.0%以上の地区のみ記載

図表 II-12 日用品の買い物の移動手段 [単数回答]



(2) 非日用品(衣料品や贈答品など)の買い物の行き先と移動手段

江別市民の非日用品(衣料品や贈答品など)の買い物の行き先では、江別市内が47.0%で最も高く、札幌市都心部(札幌駅、大通、すすきの周辺)が31.8%、新札幌等の札幌市(都心部以外)が19.3%となっており、この3カ所で、98%を超えています。

移動手段については、主な行き先別に下記が上位を占めています。

■江別市内

1位 車・バイク 68.8% 2位 自転車 12.7% 3位 徒歩 8.4%

■札幌市都心部(札幌駅、大通、すすきの周辺)

1位 JR 60.0% 2位 車・バイク 33.1% 3位 バス 3.1%

■札幌市(都心部以外)

1位 車・バイク 77.9% 2位 バス 9.6% 3位 JR 8.2%

【年代別】

- 10代、20代では、行き先では、札幌市都心部(札幌駅、大通、すすきの周辺)が5割を超え、移動手段では、JRの比率が高くなっています。
- 30代、40代では、江別市内が全体の傾向より低く、札幌市(都心部以外)が全体の傾向より高く、移動手段では、30代から50代まで車・バイクが約7割を占め、次いでJRとなっています。
- 60代、70代以上は、江別市内が全体の傾向より高く、札幌市(都心部以外)の比率が全体の傾向に比べ低くなっています。
- 70代以上は、移動手段の徒歩、自転車、バスの比率が高くなっています(車・バイクは、全体より19.6%低い38.9%)。

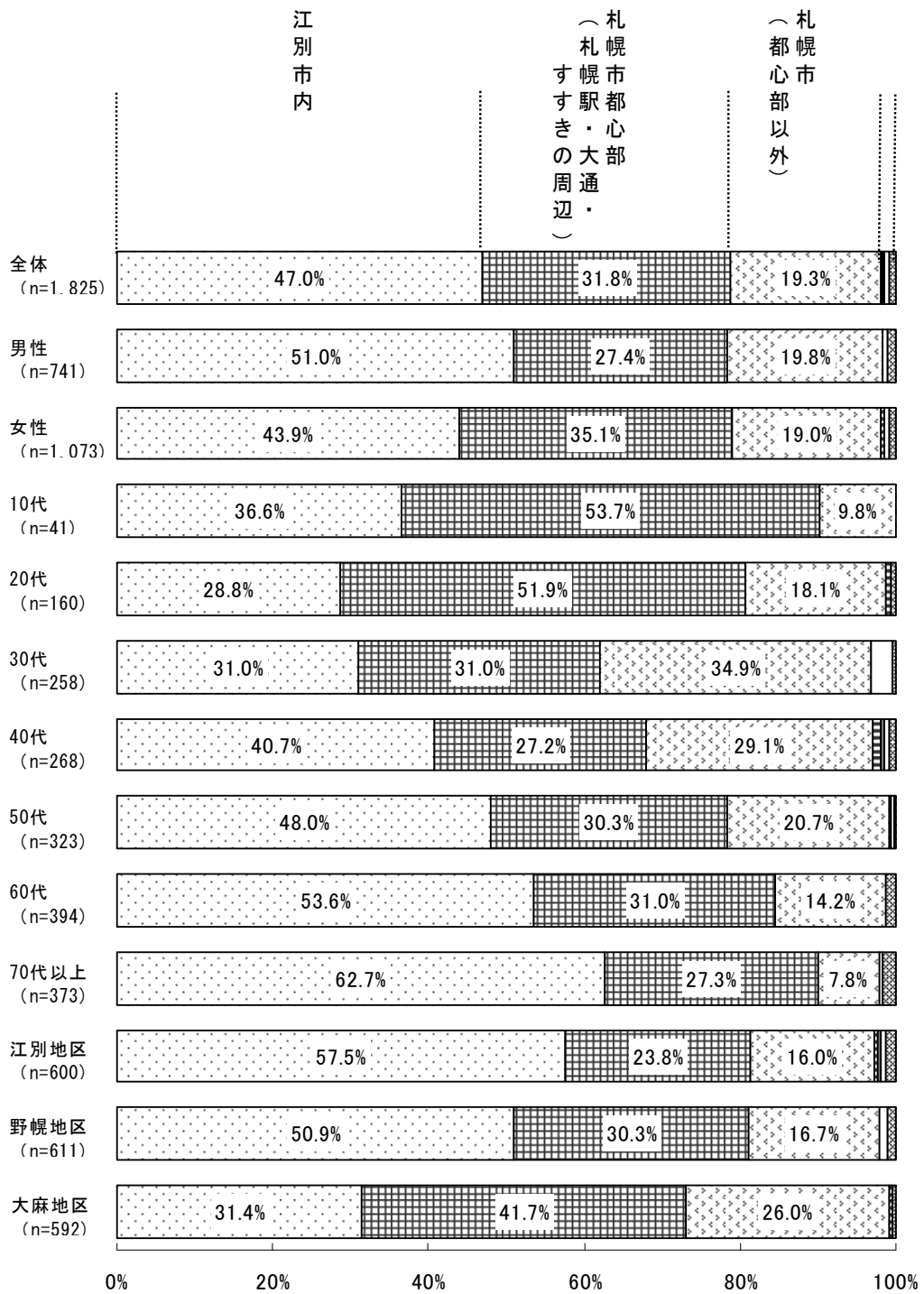
【地区別】

- 大麻地区では、行き先で札幌市都心部(札幌駅、大通、すすきの周辺)と新札幌等の札幌市(都心部以外)が高くなっています。

図表 II-13 非日用品の買い物の行き先と移動手段について [単数回答]

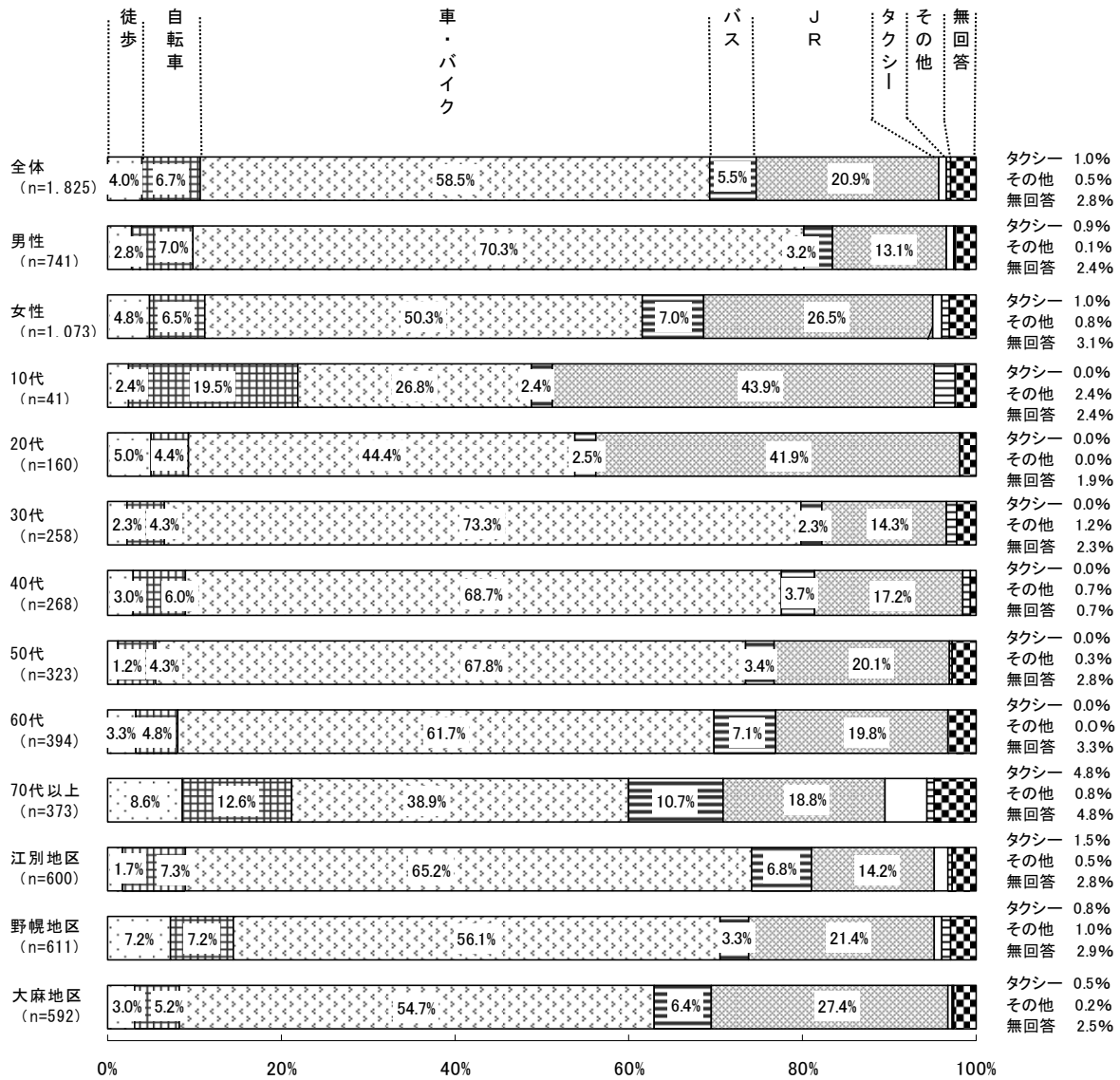
	合計 (人)	徒歩	自転車	車 ・バイク	バス	JR	タクシー	その他	無回答
1. 江別市内	858	8.4%	12.7%	68.8%	5.6%	0.3%	1.6%	0.3%	2.2%
2. 札幌市都心部(札幌駅・大通・すすきの周辺)	580	0.2%	0.9%	33.1%	3.1%	60.0%	0.5%	0.2%	2.1%
3. 札幌市(都心部以外)	353	0.0%	2.5%	77.9%	9.6%	8.2%	0.0%	0.0%	1.7%
4. 北広島市	4	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5. 岩見沢市	2	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6. その他市町村	12	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%
7. 無回答	16	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	6.3%	6.3%	0.0%	75.0%

図表 II-14 非日用品の買い物の行き先 [単数回答]



※江別市、札幌市都心部、札幌市以外の数値については、3.0%未満のため記載していません

図表 II-15 非日用品の買い物の移動手段 [単数回答]



(3) 病院などへの通院先と移動手段

江別市民の病院などの通院先では、江別市内が 78.3%で最も高く、新札幌等の札幌市（都心部以外）が 13.5%、札幌市都心部（札幌駅、大通、すすきの周辺）が 7.0%となっており、この3カ所で、98%を超えています。

移動手段については、主な行き先別に下記が上位を占めています。

■江別市内

1位 車・バイク 65.9% 2位 徒歩 10.4% 3位 自転車 9.7%

■札幌市都心部（札幌駅、大通、すすきの周辺）

1位 JR 60.6% 2位 車・バイク 30.7% 3位 バス 4.7%

■札幌市（都心部以外）

1位 車・バイク 61.5% 2位 バス 16.6% 3位 JR 15.4%

【地区別】

- 大麻地区では、通院先として江別市内が低く、札幌市（都心部以外）が 25.0%と全体より 11.5%高くなっています。

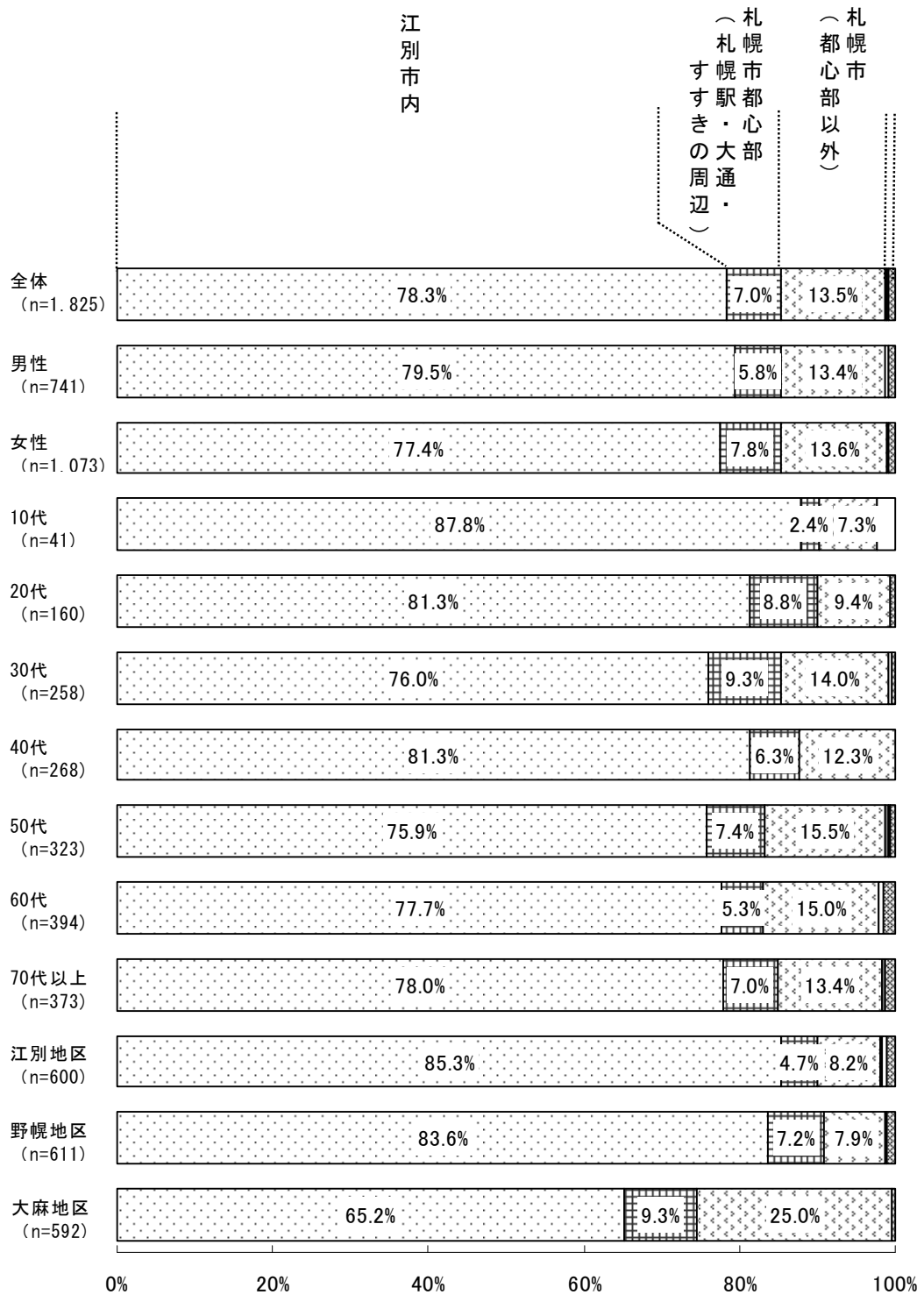
【年代別】

- 10代では、自転車の利用比率が、全体より 16.4%高くなっています。
- 70代以上では、タクシーの利用比率が高くなっています。

図表 II-16 病院等の通院先と移動手段[単数回答]

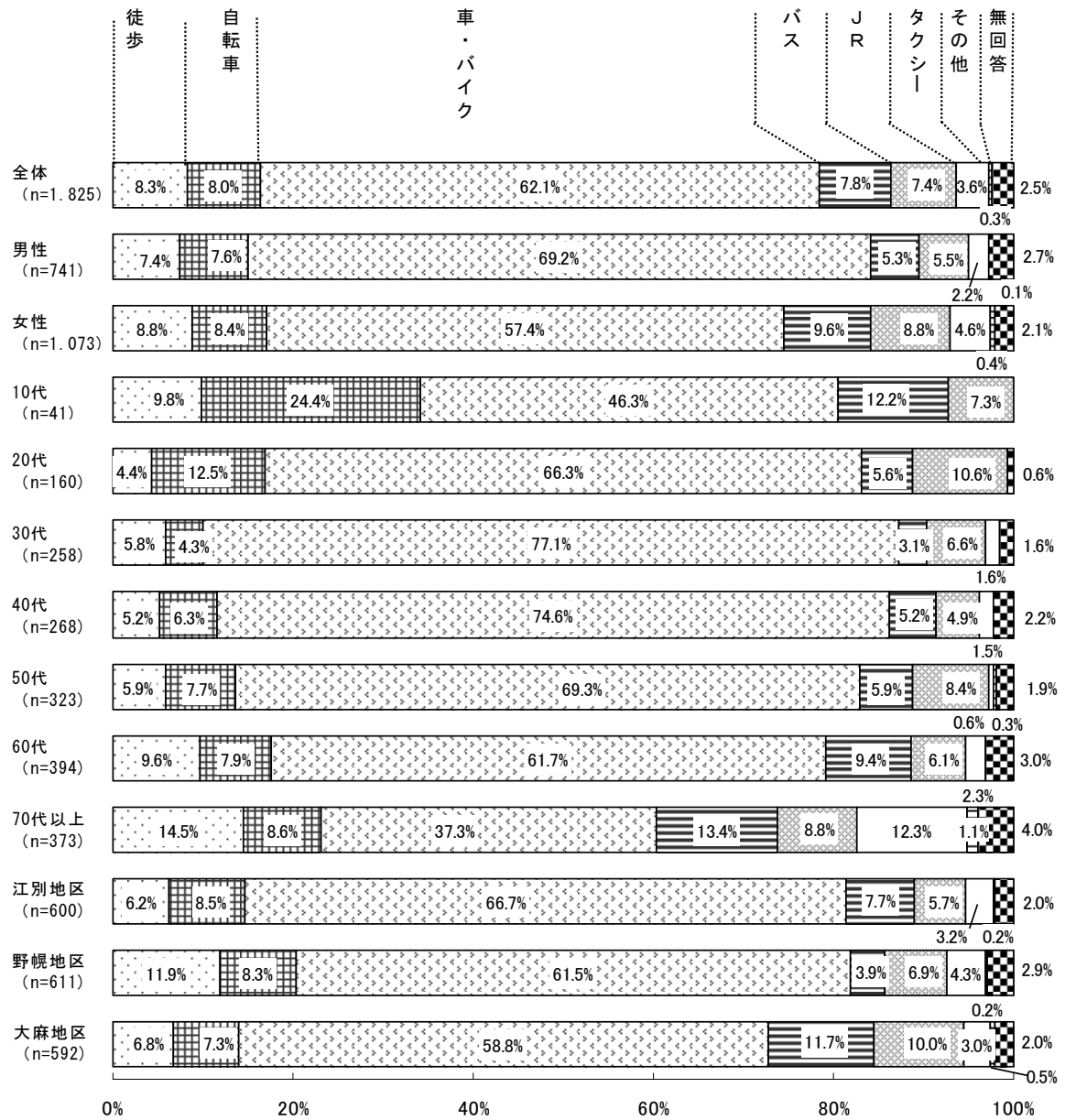
	合計 (人)	徒歩	自転車	車 ・バイク	バス	JR	タクシー	その他	無回答
1. 江別市内	1,429	10.4%	9.7%	65.9%	6.7%	1.2%	4.1%	0.3%	1.6%
2. 札幌市都心部(札幌駅・大通・すすきの周辺)	127	0.8%	0.0%	30.7%	4.7%	60.6%	0.8%	0.8%	1.6%
3. 札幌市(都心部以外)	247	0.4%	2.8%	61.5%	16.6%	15.4%	2.0%	0.0%	1.2%
4. 北広島市	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5. 岩見沢市	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6. その他市町村	5	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%
7. 無回答	15	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

図表 II-17 病院等の通院先 [単数回答]



※江別市、札幌市都心部、札幌市以外の数値については、3.0%未満のため記載していません

図表 II-18 病院等の通院の移動手段 [単数回答]



6 日常生活での歩いていける範囲【問5】

(1) 歩いていける範囲

歩いていける範囲については、「片道 15 分（約 1.2km）以内」が 43.6%と最も高く、次いで「片道 10 分（約 800m）以内」が 26.5%となっています。

歩いていける範囲が広いのは、10 代であり、歩いていける範囲が狭いのは、70 代以上となっています。

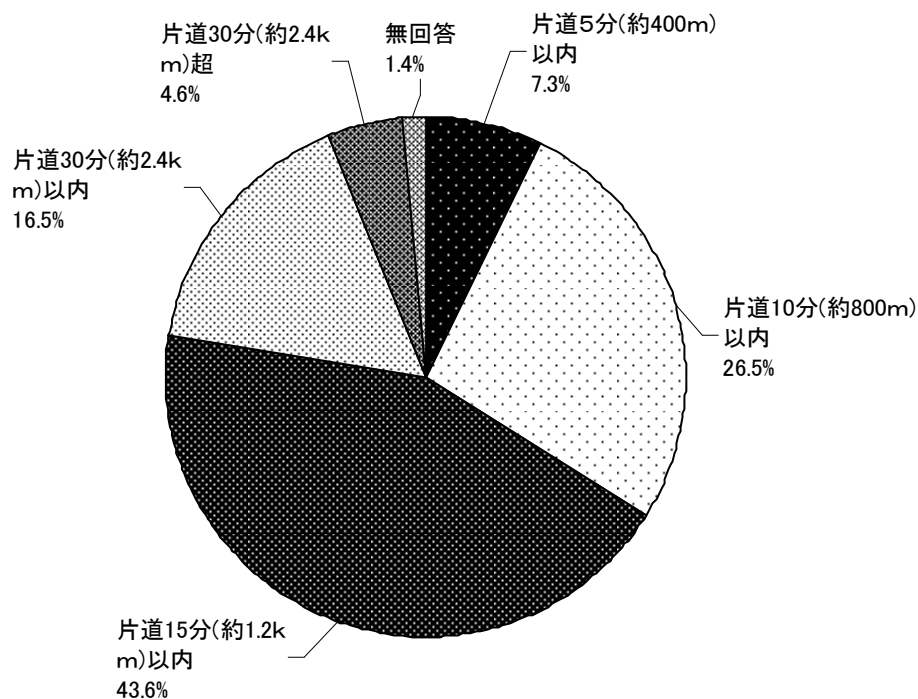
【年代別】

- 10 代では、「片道 15 分（約 1.2km）以内」、「片道 30 分（約 2.4km）以内」、「片道 30 分（約 2.4km）超」が、それぞれ 25～30%を占めており、全体として最も歩いていける範囲が広がっています。
- 30 代以降は、ほぼ全体傾向に同じ分布となっており、年代が高くなるにつれ、歩いていける範囲が、若干狭くなっていく傾向が見られます。

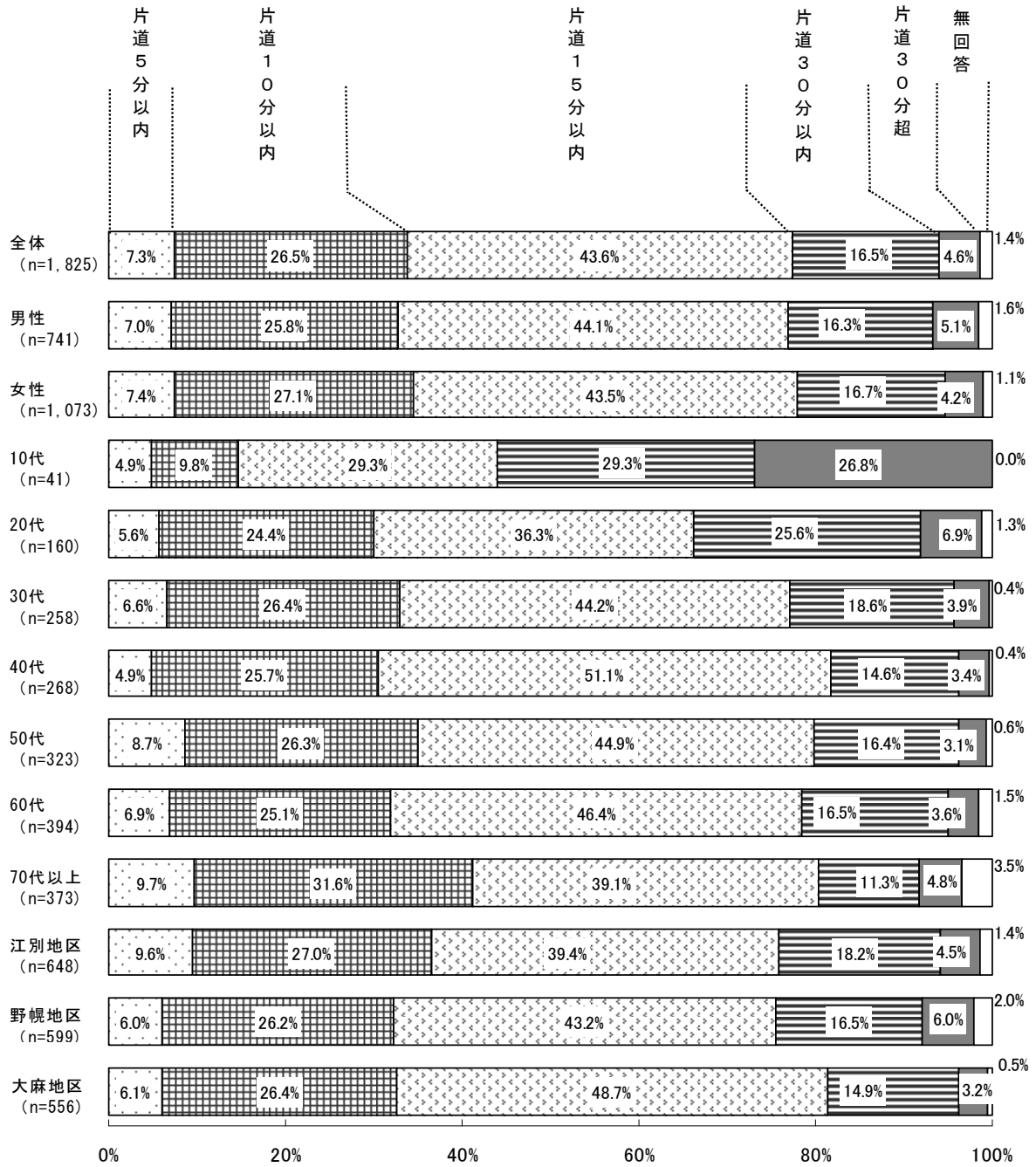
【地区別】

- 地区別の際立った特徴は見られません。

図表 II-19 歩いていける範囲[単数回答]



図表 II-20 歩いていける範囲（性別、年代別、地区別）[単数回答]



(2) 歩いていける範囲に必要なと思う施設

歩いていける範囲に必要なと思われる施設について3つまで選択いただいた結果では、スーパー69.3%、病院51.6%、金融機関38.7%が上位3位を占めています。

性別、地区別の順位等に特徴は見られませんが、年代別では、下記のような特徴が見られます。

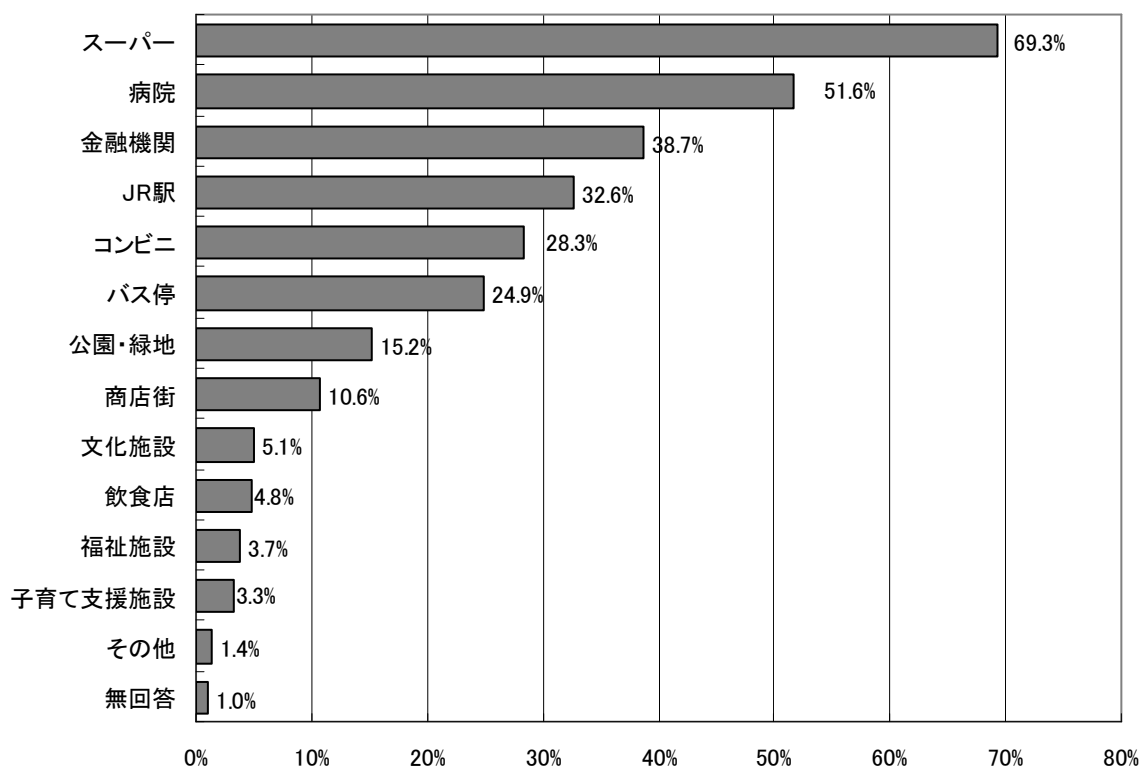
【年代別】

- 10代～30代では、「JRの駅」「コンビニ」が、上位3位以内の施設に入っています。
- 40代では、「JRの駅」が3位に入っています。

【地区別】

- 地区別の際立った特徴は見られません。

図表 II-21 歩いていける範囲に必要なと思う施設について [複数回答]



【年代別順位】

	1位	2位	3位
10代 (n=41)	JRの駅 (70.7%)	スーパー (63.4%)	コンビニ (53.7%)
20代 (n=160)	スーパー (62.5%)	JRの駅 (58.1%)	コンビニ (52.5%)
30代 (n=258)	スーパー (65.1%)	コンビニ (40.7%)	JRの駅 (36.8%)
40代 (n=268)	スーパー (69.0%)	病院 (50.0%)	JRの駅 (36.2%)
50代 (n=323)	スーパー (71.2%)	病院 (55.1%)	金融機関 (37.2%)
60代 (n=394)	スーパー (73.4%)	病院 (59.9%)	金融機関 (47.2%)
70代以上 (n=373)	スーパー (70.5%)	病院 (61.4%)	金融機関 (50.1%)

7 将来の江別市のイメージ【問6】

あなたが望む将来の江別市のイメージについて3つまで選択いただいた結果、「高齢者や障がい者など、すべての人が安心して暮らせる福祉のまち（福祉のまち）」が58.2%で第1位、「事故や犯罪が少なく、災害に強い安全なまち（安全なまち）」が48.4%で第2位、「医療体制や健康づくりの充実した健康のまち（健康のまち）」が43.1%で第3位、「子どもたちが地域で安心、安全に暮らせる子育て応援のまち（子育て応援のまち）」が41.4%で第4位、「道路や公園など市街地の整備が行われ、快適に居住できる暮らしのまち（暮らしのまち）」が29.1%で第5位、「身近な自然に親しめ、地球にやさしい環境共生のまち（環境共生のまち）」が16.1%で第6位となっています。

性別、年代別、地区別の各回答の上位6位が、前述の6つのいずれかとなっています。

【年代別】

- 10～40代では、「安全なまち」「子育て応援のまち」が上位を占める傾向が見られます。
- 50代以上では、「福祉のまち」「健康のまち」が上位を占める傾向が見られます。

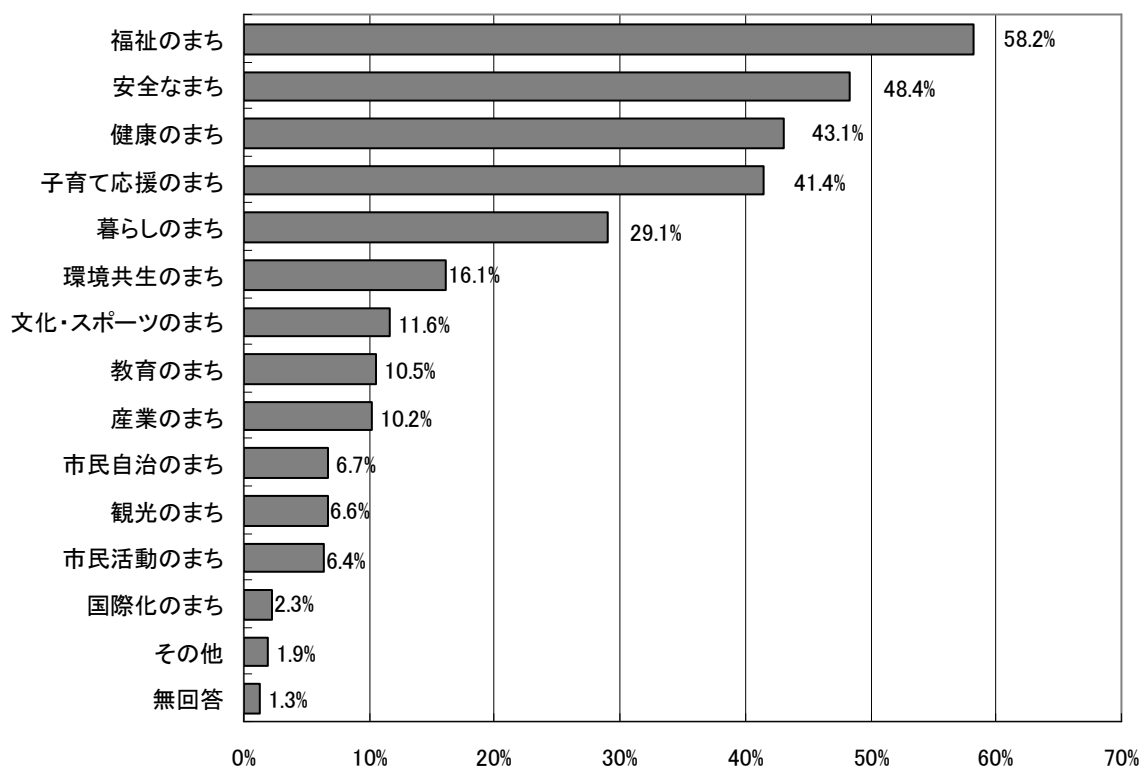
【地区別】

- 地区別の際立った特徴は見られません。

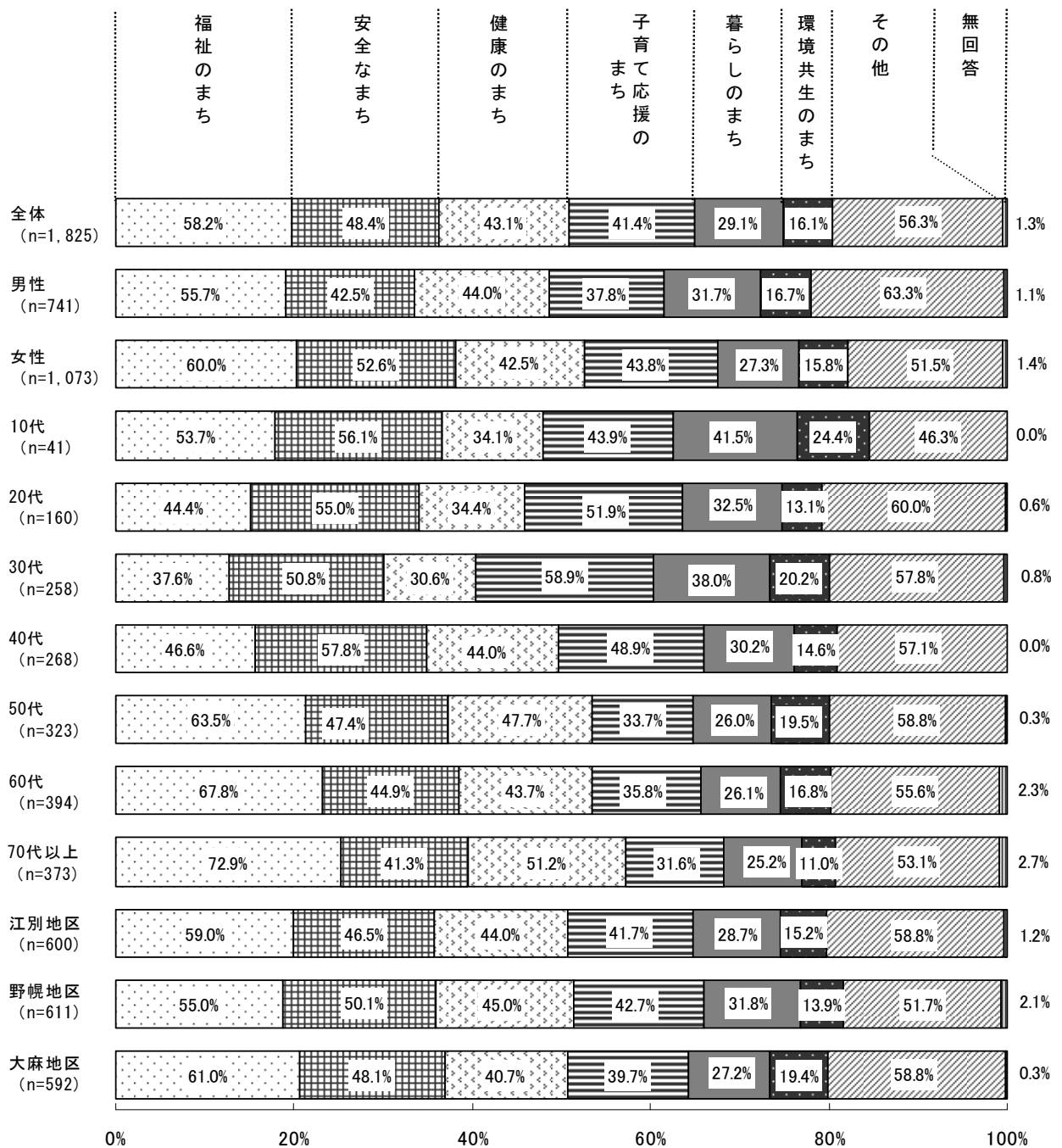
■分析上の留意点

本調査は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災後の10月に調査をしていることから「安全なまち」の順位が高い傾向にあると考えられます。

図表 II-22 あなたが望む将来の江別市のイメージ[複数回答]



図表 II-23 あなたが望む将来の江別市のイメージ（性別、年代別、地区別）〔複数回答〕



年代別での回答の特徴

- ・ 「1. 子どもたちが地域で安心、安全に暮らせる子育て応援のまち」の回答が、30代で全体よりも17.5%高く、次いで20代で10.5%高くなっています。
- ・ 「2. 高齢者や障がい者など、すべての人が安心して暮らせる福祉のまち」の回答が、70代以上で全体よりも14.7%高くなっています。一方で、30代では全体よりも20.6%低く、次いで20代で13.8%、40代で11.6%と全体よりもそれぞれ低くなっています。
- ・ 「3. 医療体制や健康づくりの充実した健康のまち」の回答が、30代で全体よりも12.5%低くなっています。
- ・ 「6. 道路や公園など市街地の整備が行われ、快適に居住できる暮らしのまち」の回答が、10代で全体よりも12.4%高くなっています。

8 今後の市街地開発の方向性【問7】

人口減少や少子高齢化等の環境変化を踏まえた今後の市街地開発の方向性については、「コンパクトな都市づくり」が32.9%、「コンパクトな都市づくりを基本に産業の振興に限定した市街地拡大を容認する都市づくり」が29.3%、合計で62.2%と高くなっており、コンパクトな都市づくりを基本とする考え方が示されています。

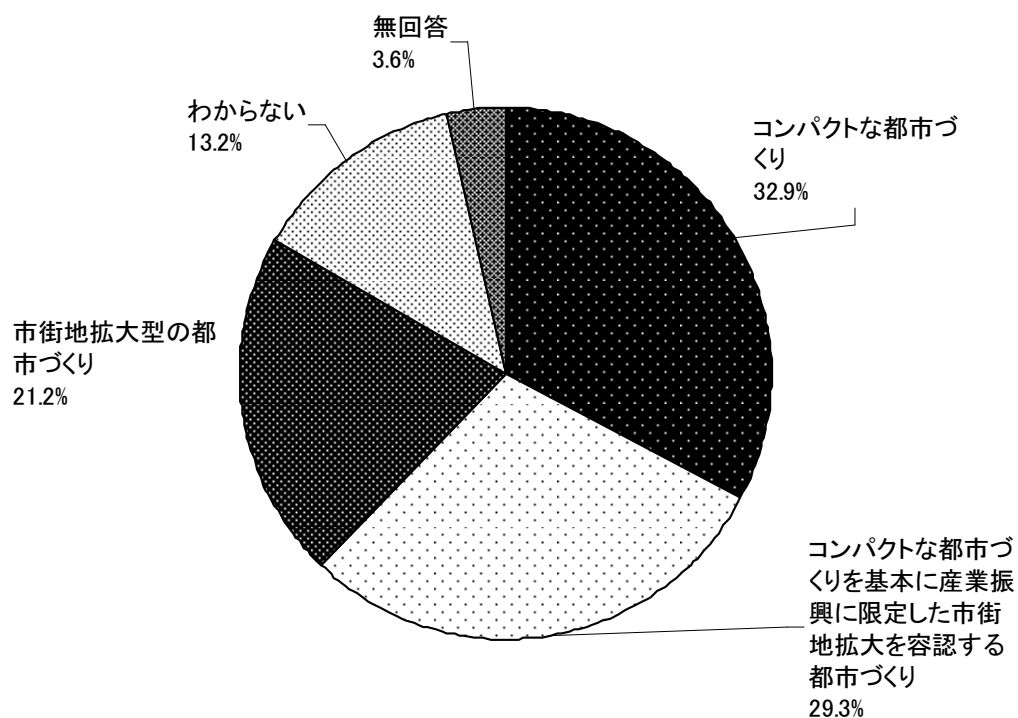
【年代別】

- 10代では、「わからない」の回答が、全体より13.6%高くなっていると同時に、「コンパクトな都市づくりを基本に産業振興に限定した市街地拡大を容認する都市づくり」が、全体より9.8%低くなっています。

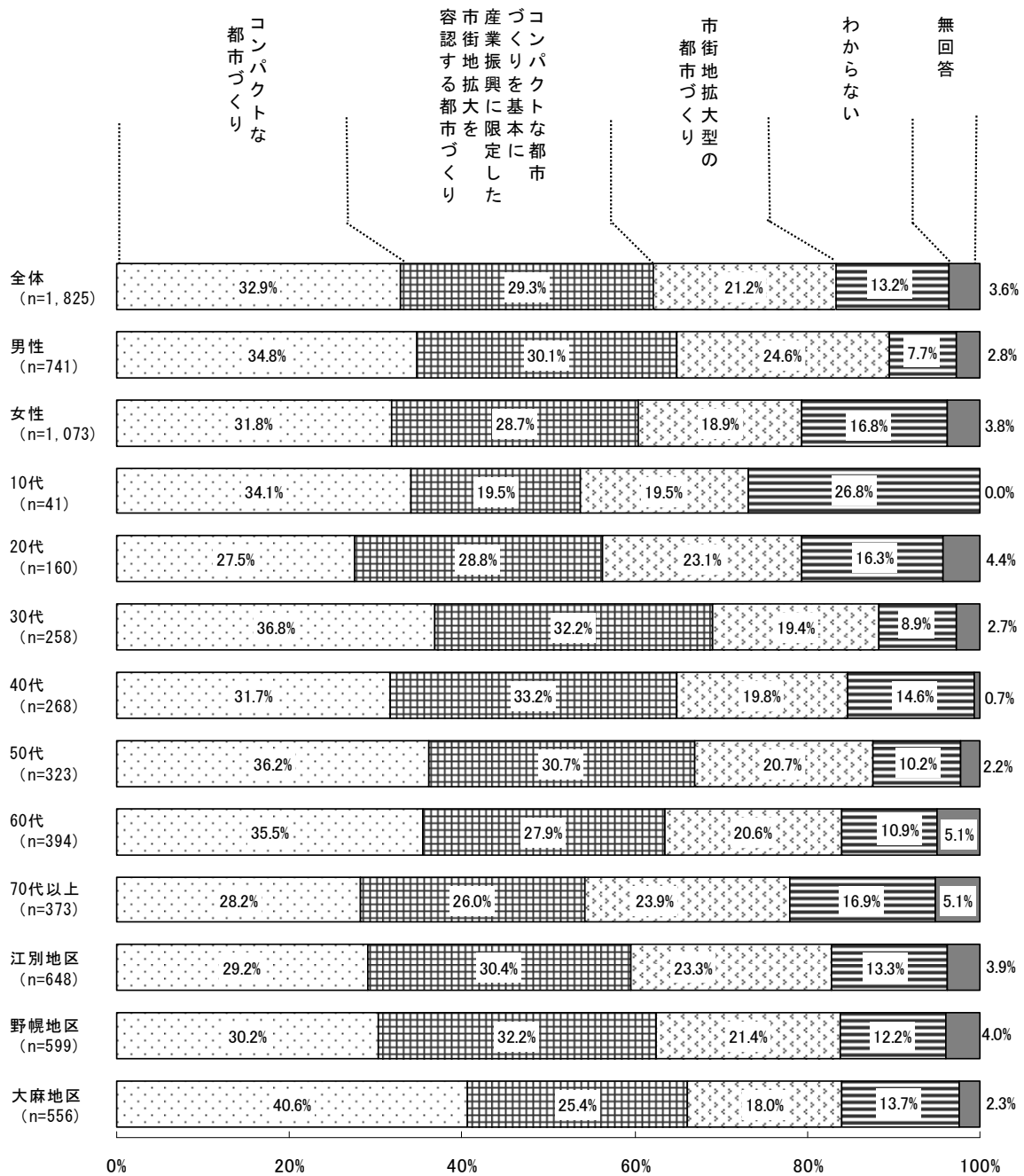
【地区別】

- 大麻地区では、江別地区、野幌地区に比較して「コンパクトな都市づくり」の回答が、10%程度上高くなっています。

図表 II-24 市街地開発の方向性[単数回答]



図表 II-25 市街地開発の方向性（性別、年代別、地区別）[単数回答]



9 江別市の計画づくりやまちづくりの取り組みへの参加意向【問 17】

江別市のこれからの計画づくりやまちづくりの取り組みに意見を出したり、活動したりすることなどへの市政参加意向については、「機会があれば行いたい」が 46.2%、「積極的に行いたい」が 5.6%で、参加意向全体としては、51.8%で、5割を超えています。

一方、「あまり行わず、行政に任せたい」が 25.3%、「わからない」が 21.5%となっています。

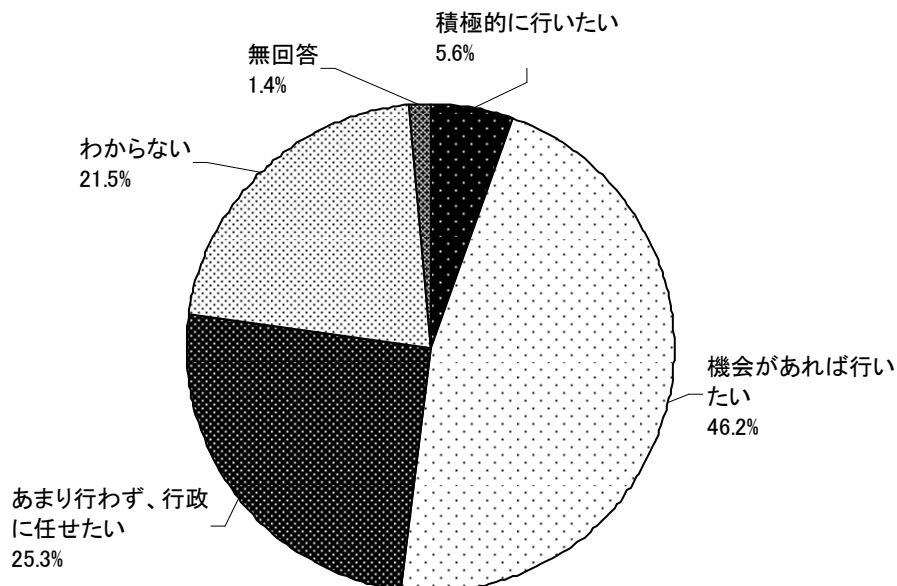
【年代別】

- 10代、30代、50代では、「機会があれば行いたい」の回答が、全体の傾向より高くなっています。
- 70代では、「あまり行わず行政に任せたい」の回答が、全体の傾向より高くなっています。

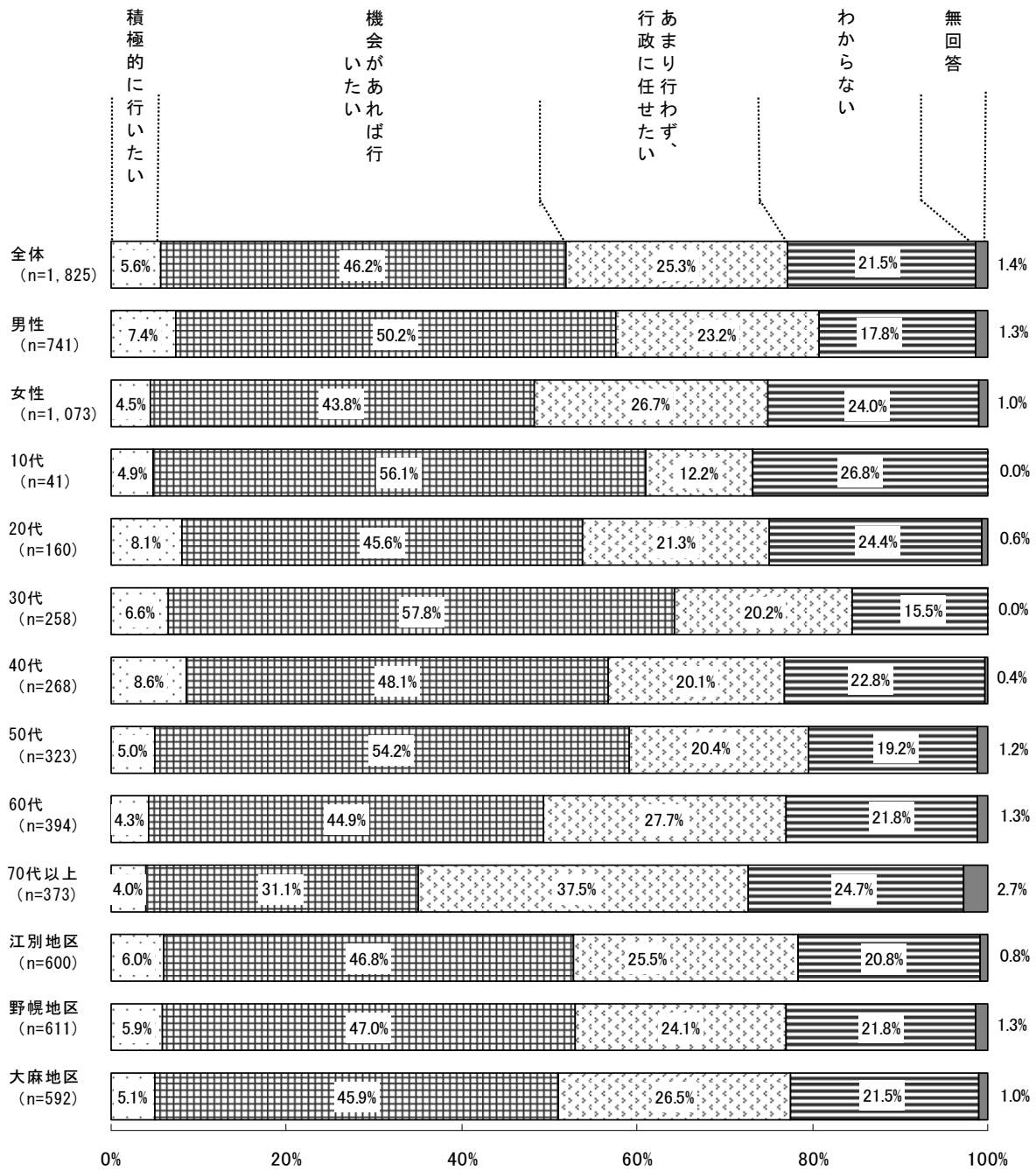
【地区別】

- 地区別の際立った特徴は見られません。

図表 II-26 市政参加意向[単数回答]



図表 II-27 市政参加意向（性別、年代別、地区別）[単数回答]



10 江別市の計画づくりやまちづくりの取り組みへの関わり方【問 18】

江別市のこれからの計画づくりやまちづくりへの参加意向がある方への設問で、どのような方法で関わりたい（参画したい）かについては、「インターネットや手紙などの意見募集」が 41.4%、「自治会など地域のまちづくり活動への参加」が 32.7%で上位を占めています。

【年代別】

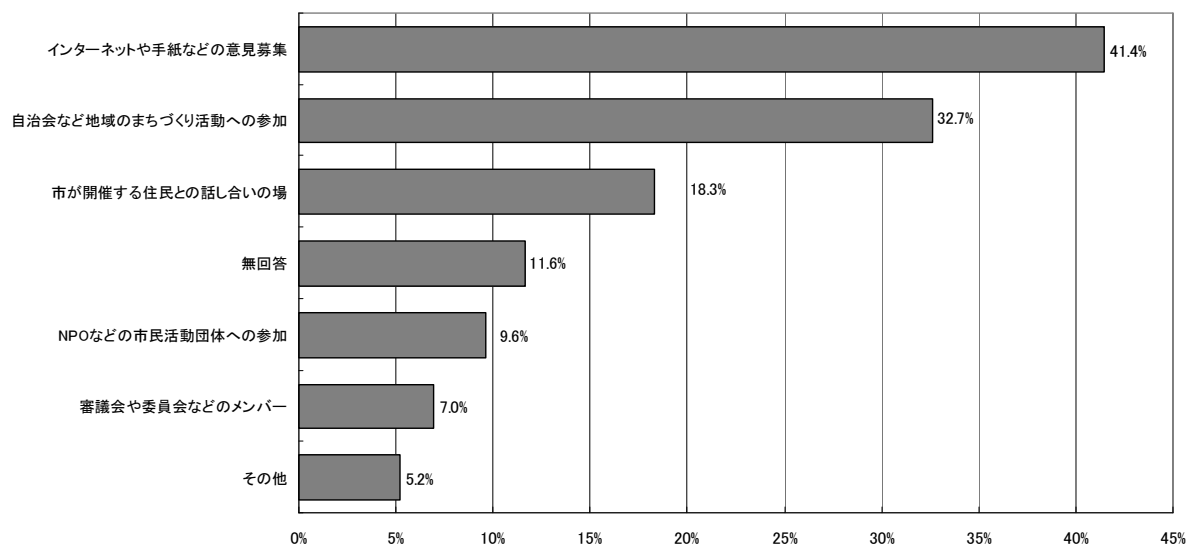
- 10～40 代では、「インターネットや手紙などの意見募集」の回答が、全体の傾向より高く、50%以上となっています。特に 20 代では 70.9%となっています。
- 10 代では、「自治会など地域のまちづくり活動への参加」の回答が、全体より 19.3%高くなっています。「NPO などの市民活動団体への参加」の回答が、全体より 10.4%高くなっています。
- 20 代では、「市が開催する住民との話し合いの場に参加」の回答が、全体より 11.3%低くなっています。
- 20～40 代では、「自治会など地域のまちづくり活動への参加」の回答が、全体の傾向より 10%程度低くなっています。
- 60 代、70 代以上では、「自治会など地域のまちづくり活動への参加」の回答が、全体の傾向より 10%程度高くなっています。

【地区別】

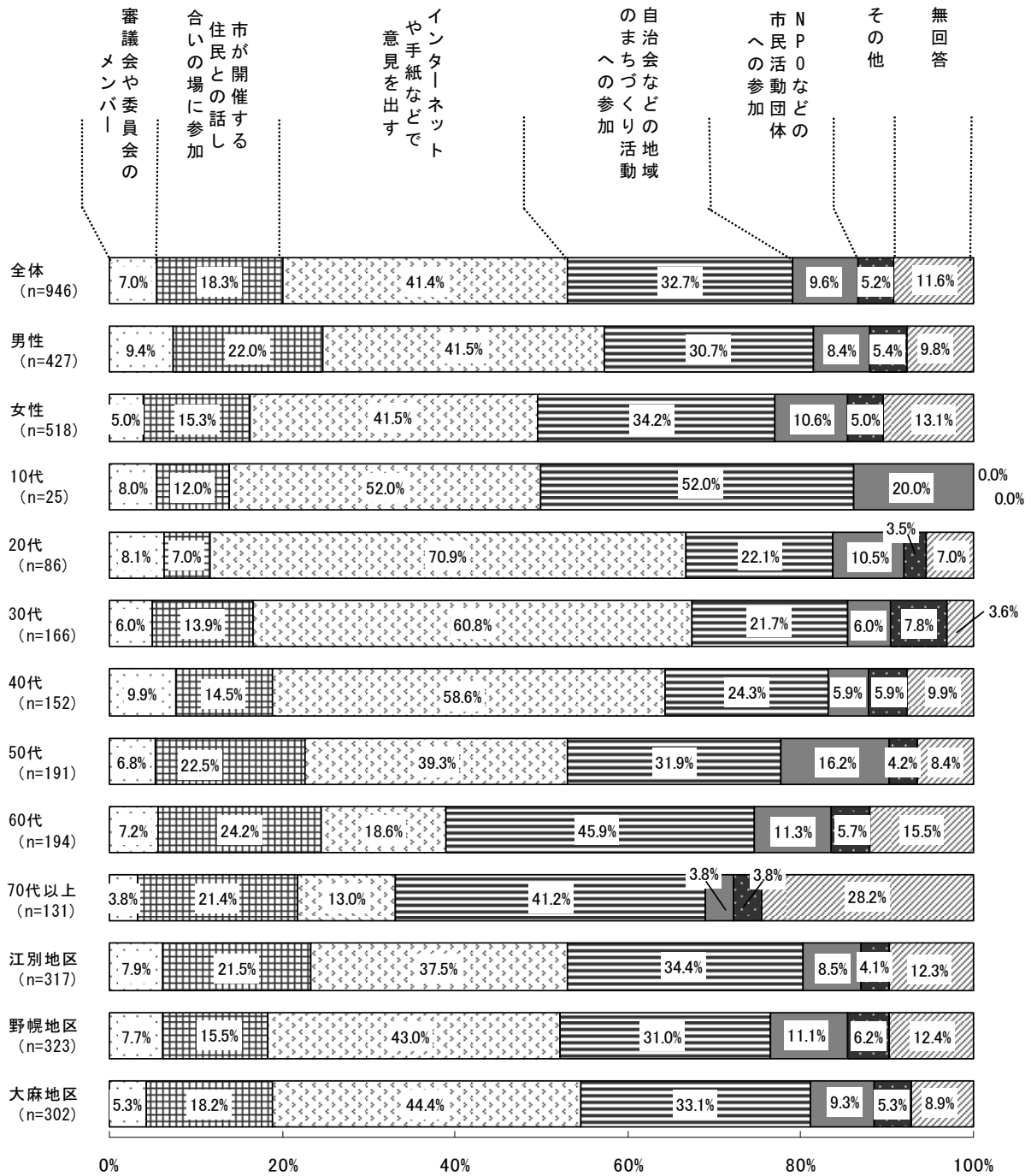
- 地区別の際立った特徴は見られません。

※回答は、「江別市の計画づくりやまちづくりへの参加意向の設問で、「積極的に行いたい」または「機会があれば行いたい」と回答された方のみ

図表 II-28 市政参加の関わり方[複数回答]



図表 II-29 市政参加の関わり方（性別、年代別、地区別）〔複数回答〕



11 市の計画づくりやまちづくりの取り組みにあまり関わりたくない理由【問 19】

江別市のこれからの計画づくりやまちづくりへの参加意向において、「あまり行わず、行政に任せたい」と回答した方への設問において、あまり関わりたくない（参画したくない）という理由については、「仕事や家庭の事情などで忙しく時間がないから」が 32.3%で一番高く、以下は「行政の役割であり、行政が行うべきだから」が 16.1%、「市の計画や取り組みに関する情報が少なくわからないから」が 13.4%、「意見を言っても反映されないと思うから」が 12.6%となっています。

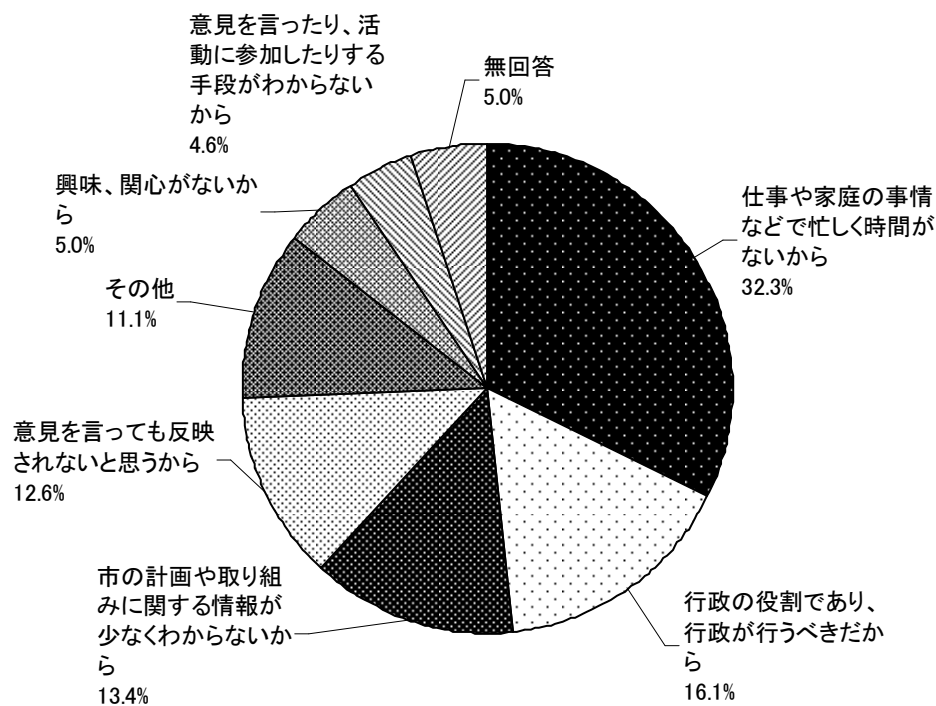
【年代別】

- 10代、30代、40代、50代では、「仕事や家庭の事情などで忙しく時間がないから」の回答が全体の傾向より高くなっており、特に10代で60.0%、40代で66.7%となっています。
- 20代では、「市の計画や取り組みに関する情報が少なくわからないから」が26.5%と全体より13.1%高くなっています。
- 70代以上では、「その他」が24.3%と全体より13.2%高くなっている。理由としては、高齢により難しい等の理由が多くを占めています。

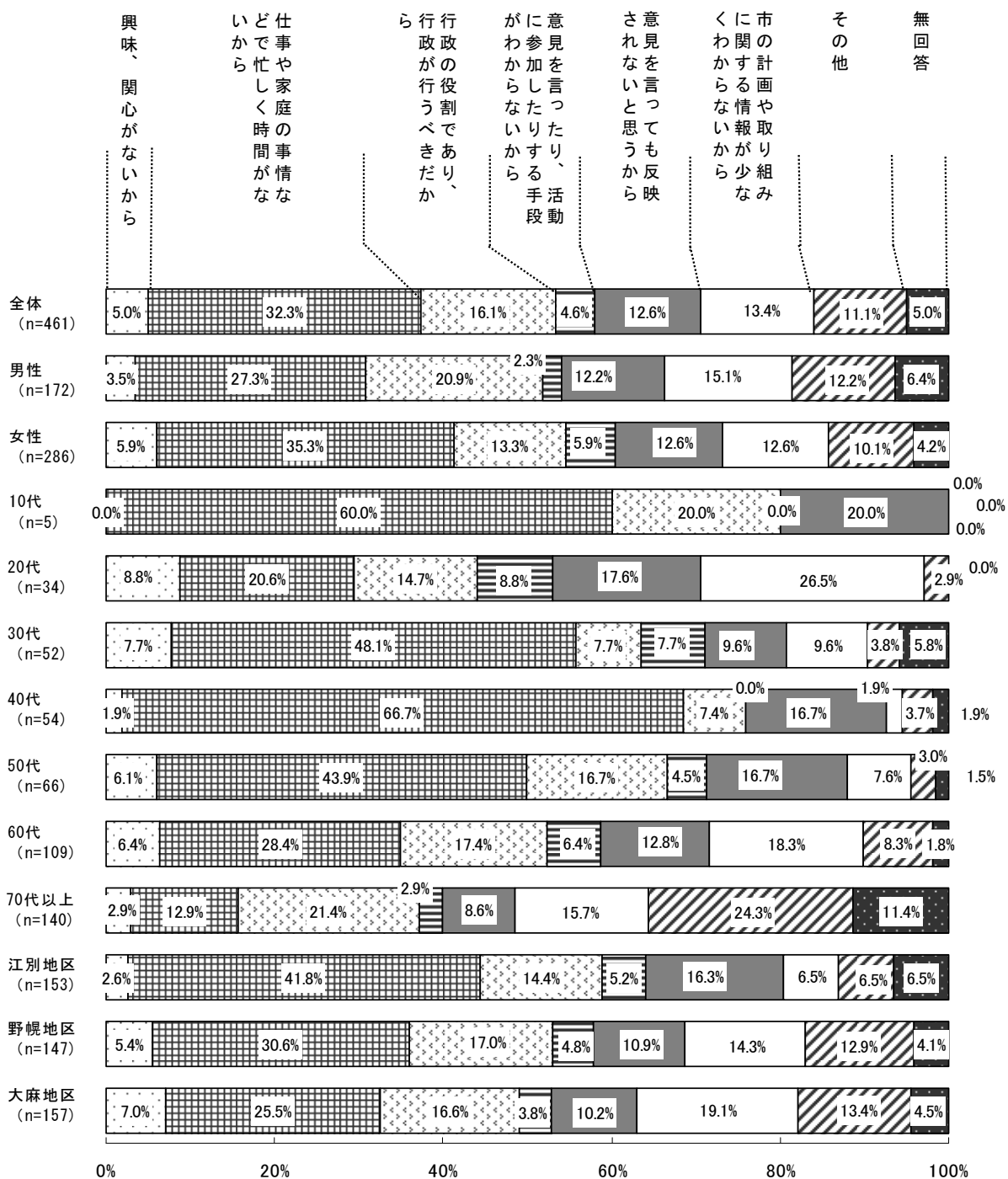
【地区別】

- 江別地区では、「仕事や家庭の事情などで忙しく時間がないから」の回答が、全体より9.5%高くなり、41.8%となっています。

図表 II-30 市政に参加したくない理由【単数回答】



図表 II-31 市政に参加したくない理由（性別、年代別、地区別）[単数回答]



12 自由意見の傾向【問8】

新しい総合計画の策定にあたって、およそ10年後の江別市の「望ましい姿」・「目指すべき姿」・「進むべき道すじ」・「まち（都市）づくり」などについての自由意見として回答いただいた延べ1,168件を、「4 江別市の生活環境や行政サービスの満足度・重要度」の区分を基本として分類した傾向は、以下のとおりとなります。

<大項目（政策的分類）での傾向>

大項目（政策的分類）での傾向としては、「都市づくり」分野が420件（36.0%）と多くの意見をいただいています。次いで「保健・医療・福祉」分野が244件（20.9%）、「生活環境」分野が167件（14.3%）、「産業」分野が142件（12.2%）で、上位を占めています。

<中項目（施策的分類）での傾向>

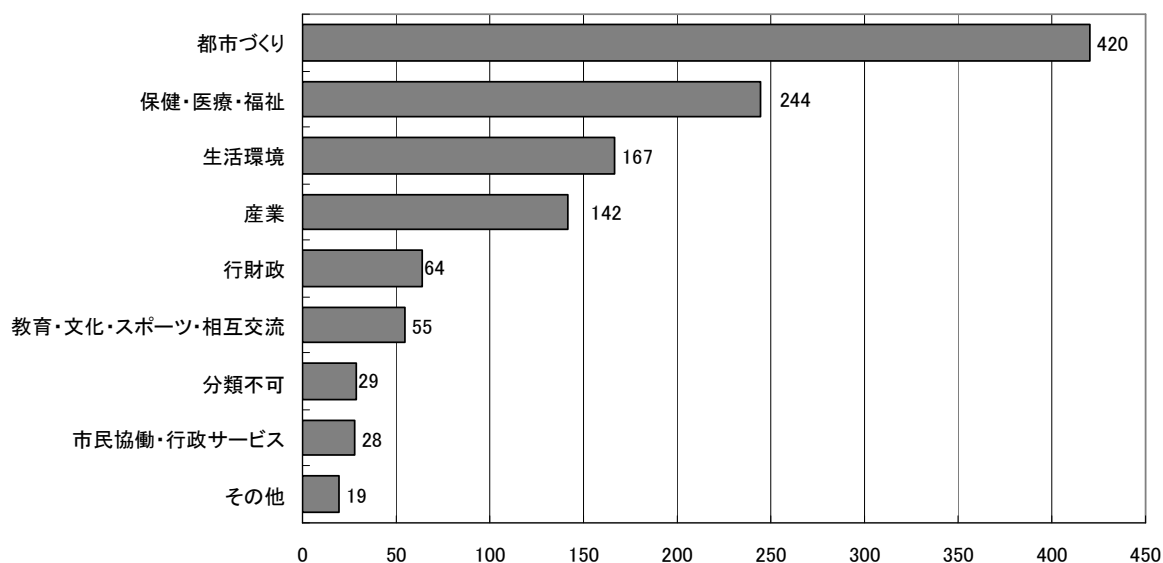
「駅周辺の市街地のにぎわい（市街地のにぎわい）」が97件（8.3%）、「高齢者の生活のしやすさ（高齢者福祉）」が94件（8.0%）と多くの意見をいただいています。

5.0%以上を占める意見をいただいた分野としては、「公共交通機関（JR・バス）の利用しやすさ（公共交通機関）」、「保育サービスなどの子育てのしやすさ（子育て環境）」となっています。

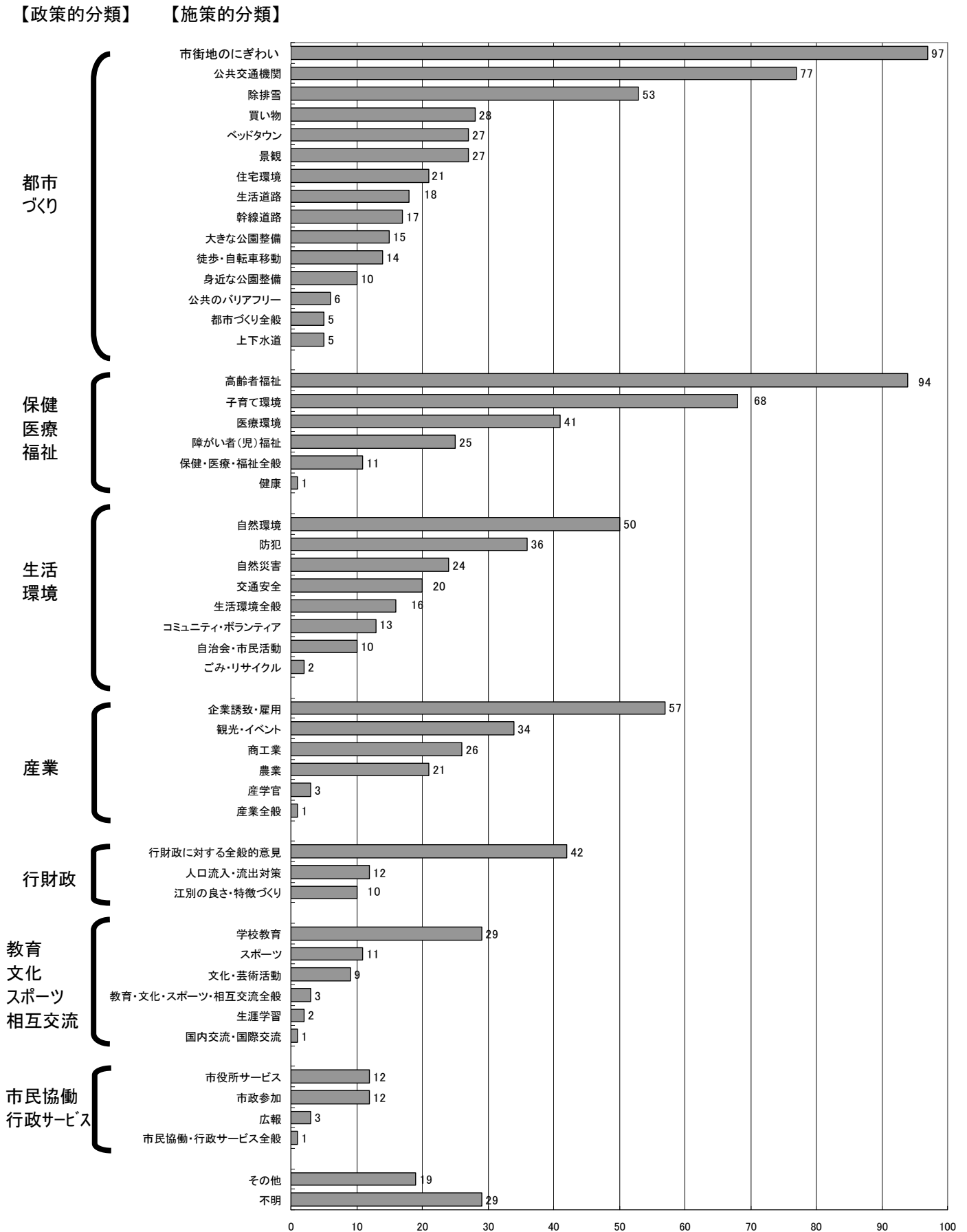
※集計にあたって

1人の回答者が複数の政策・施策に関わる意見を記載している場合は、その意見をそれぞれ該当する大項目・中項目に対する意見として数えるため、実際の回答者数より、意見数が多くなります。

図表 II-32 自由意見の大項目（政策的分類）別の意見数【複数回答】



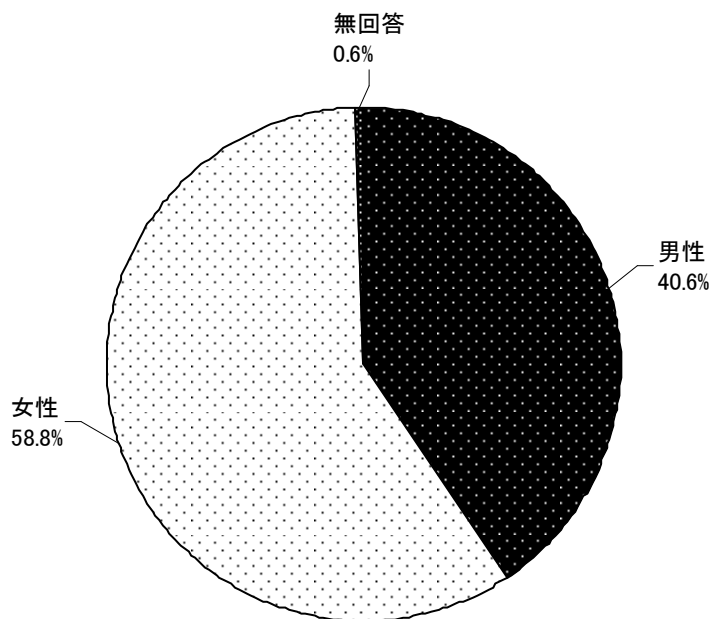
図表 II-33 自由意見の中項目（施策的分類）の意見数 [複数回答]



Ⅲ 回答者属性

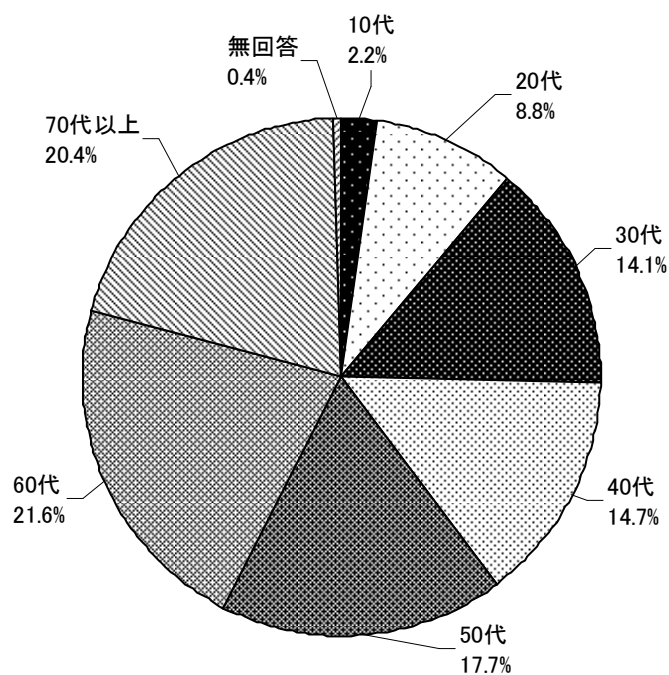
1 性別【問9】

図表 Ⅲ-1 性別回答者割合【単数回答】



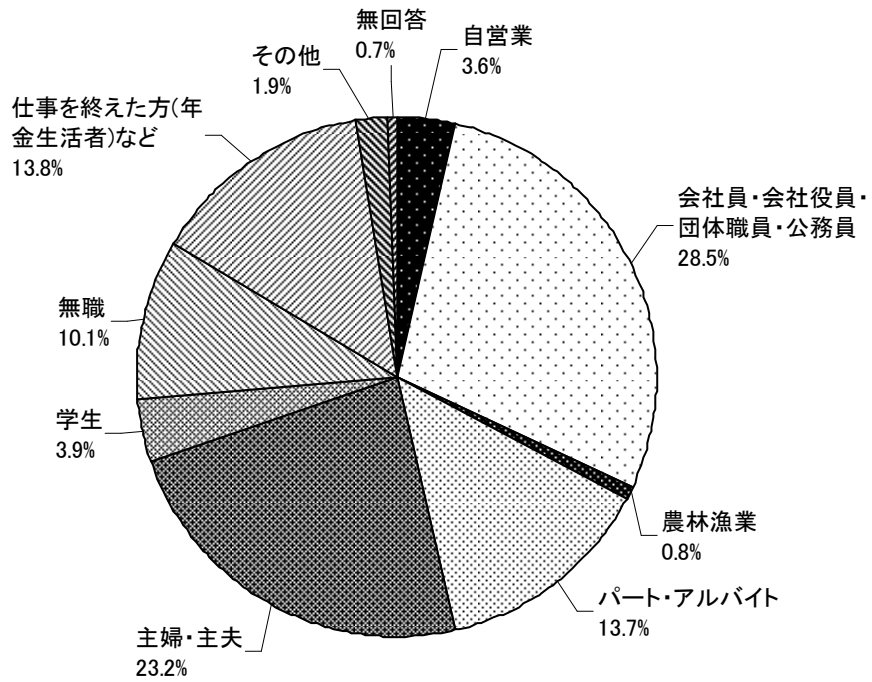
2 年代【問10】

図表 Ⅲ-2 年代別回答者割合【単数回答】



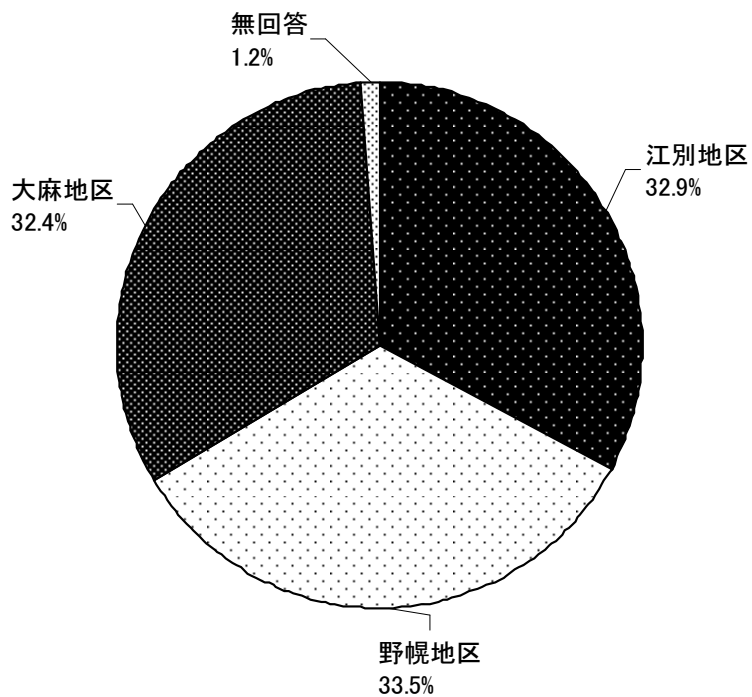
3 職業【問 11】

図表 Ⅲ-3 職業別回答者割合【単数回答】



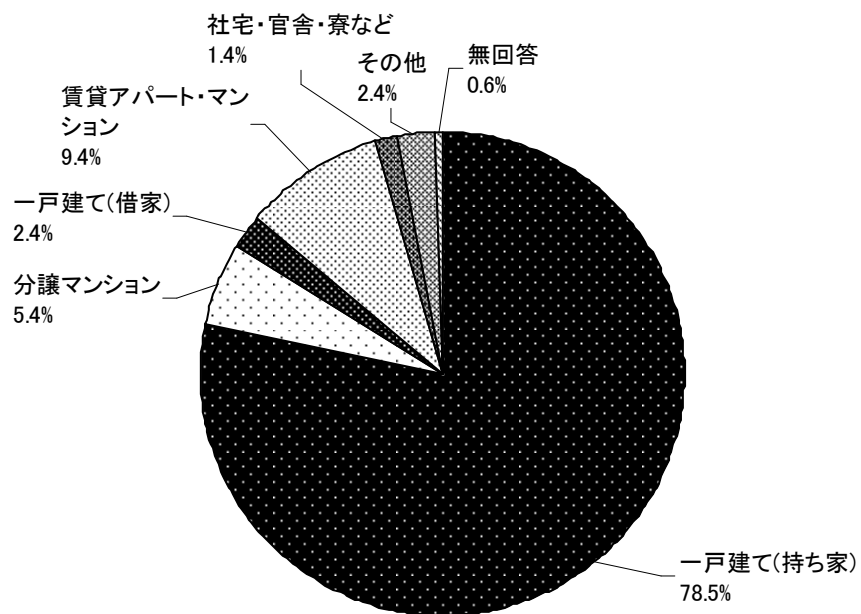
4 居住地区【問 12】

図表 Ⅲ-4 地区別回答者割合【単数回答】



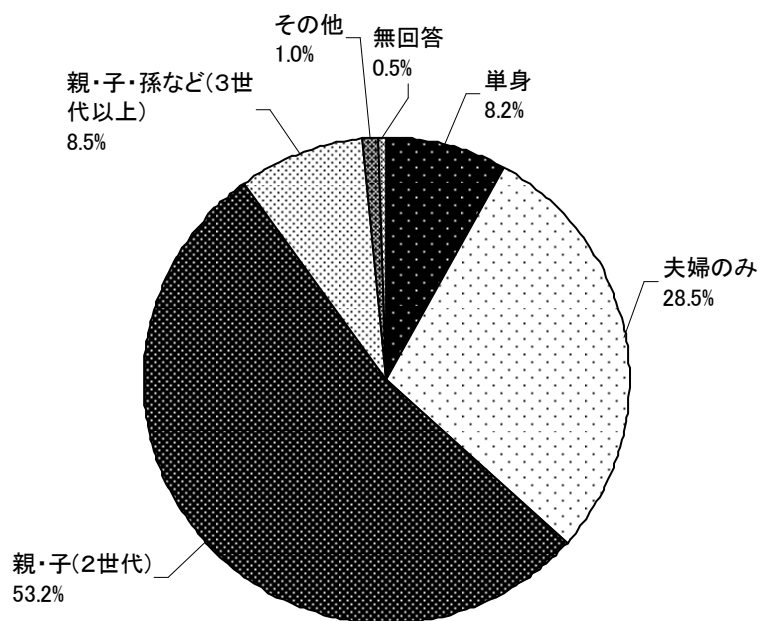
5 居住状況【問13】

図表 Ⅲ-5 居住別回答者割合【単数回答】



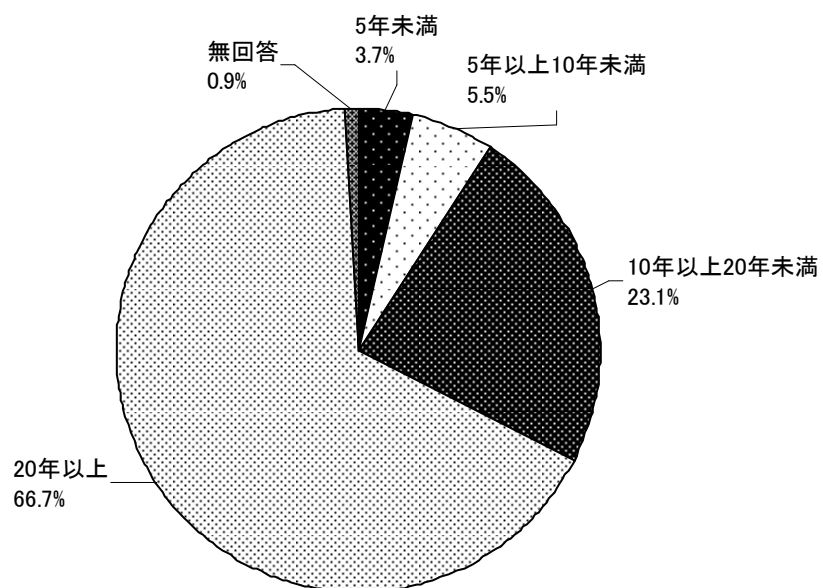
6 家族構成【問14】

図表 Ⅲ-6 家族構成別回答者割合【単数回答】



7 居住期間【問 15】

図表 Ⅲ-7 居住年数別回答者割合 [単数回答]



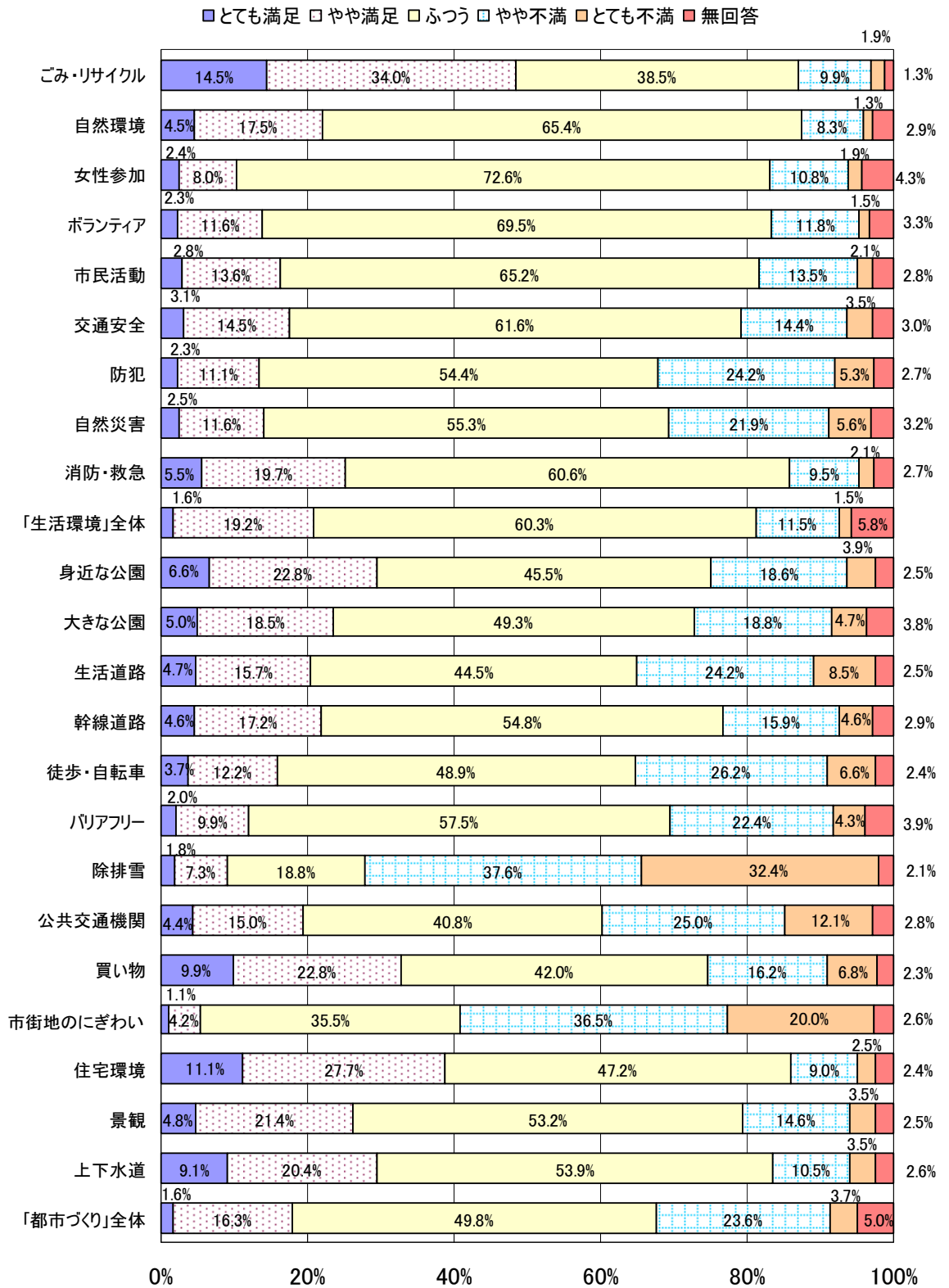
資 料 編

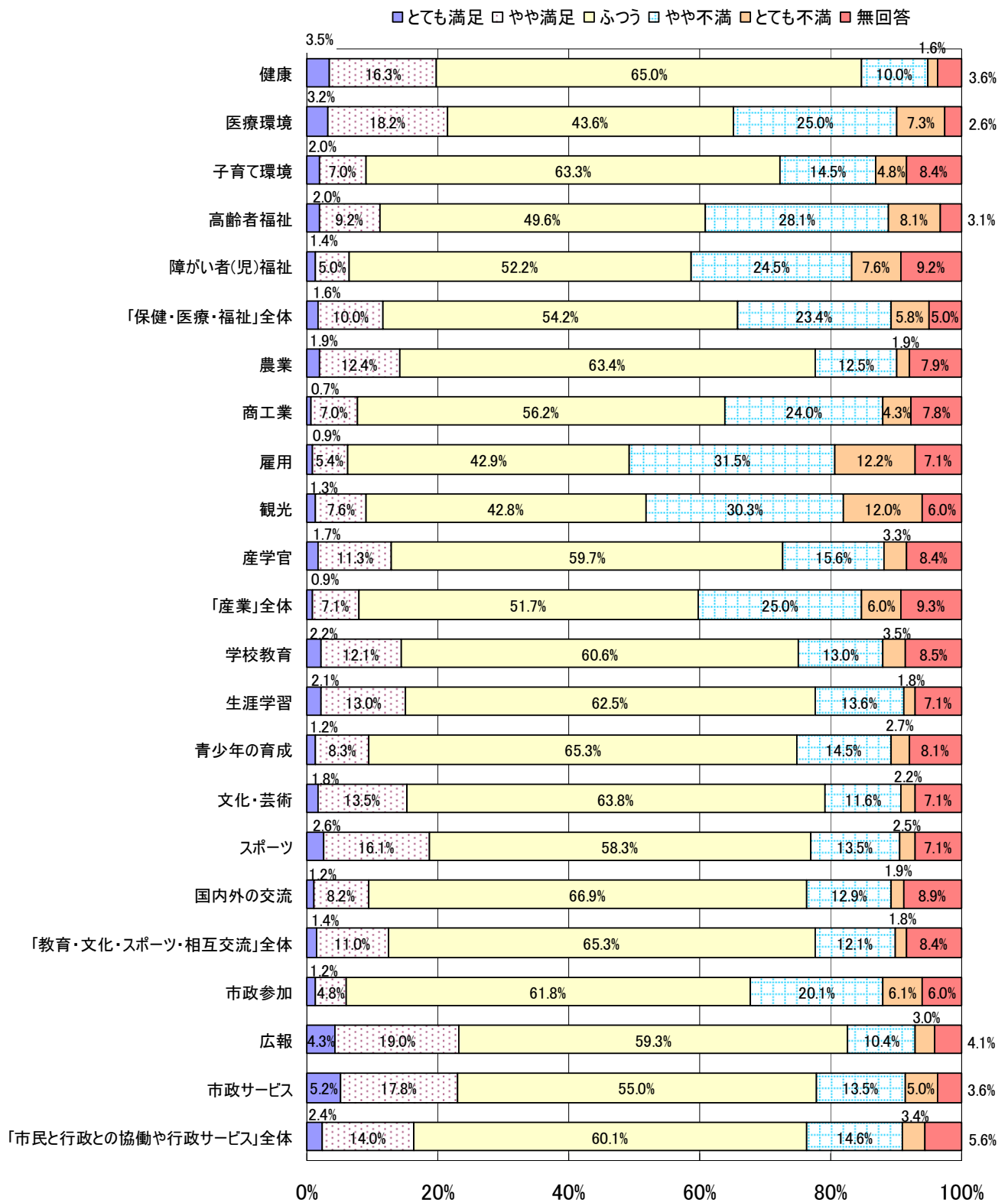
1 問3 江別市の生活環境や行政サービスなどの満足度重要度

(1) 短縮表記一覧

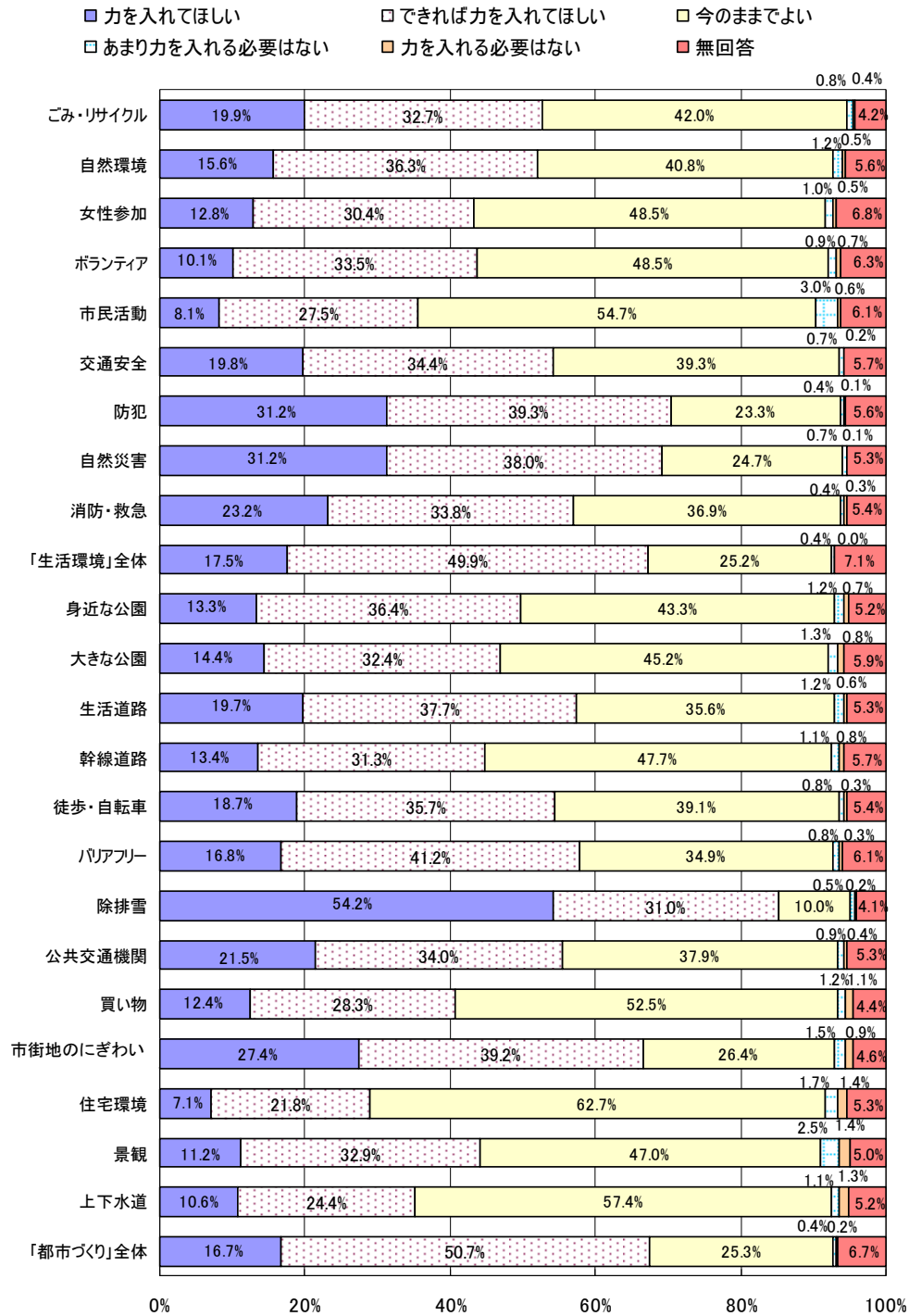
番号	調査票の表記	短縮表記
1.	ごみの収集処理やリサイクルへの取り組み	ごみ・リサイクル
2.	自然環境保全への取り組み	自然環境
3.	女性の社会参加のしやすさ	女性参加
4.	コミュニティ活動やボランティア活動のしやすさ	ボランティア
5.	自治会など市民活動のしやすさ	市民活動
6.	交通安全への取り組み	交通安全
7.	防犯への取り組み	防犯
8.	自然災害などに対する安全性	自然災害
9.	消防・救急救命体制の状況	消防・救急
10.	「生活環境」全体について	「生活環境」全体
11.	身近な公園の整備状況	身近な公園
12.	レジャーや運動などに使える大きな公園の整備状況	大きな公園
13.	身近な生活道路の整備状況	生活道路
14.	国道や道道など他市町村へつながる幹線道路の整備状況	幹線道路
15.	徒歩や自転車での移動のしやすさ	徒歩・自転車
16.	公共施設や公共空間などのバリアフリー化	バリアフリー
17.	道路や歩道の除排雪の状況	除排雪
18.	公共交通機関(JR・バス)の利用のしやすさ	公共交通機関
19.	日用品(食料品など)の買い物のしやすさ	買い物
20.	駅周辺など市街地のにぎわい	市街地のにぎわい
21.	住宅環境の快適性(日照、通風、静寂さなど)	住宅環境
22.	レンガの活用や緑・花が調和した街並み(景観)	景観
23.	水道水の供給と下水道の整備状況	上下水道
24.	「都市づくり」全体について	「都市づくり」全体
25.	健康づくりへの取り組み	健康
26.	病院や医師などの医療環境の状況	医療環境
27.	保育サービスなどの子育てのしやすさ	子育て環境
28.	高齢者の生活のしやすさ	高齢者福祉
29.	障がい者(児)の生活のしやすさ	障がい者(児)福祉
30.	「保健・医療・福祉」全体について	「保健・医療・福祉」全体
31.	農業の振興への取り組み	農業
32.	商工業の振興への取り組み	商工業
33.	企業誘致や雇用機会の創出への取り組み	雇用
34.	観光やイベントの魅力	観光
35.	産学官(民間企業と大学・研究機関、行政)の連携	産学官
36.	「産業」全体について	「産業」全体
37.	小・中学校の教育環境の状況	学校教育
38.	各種サークルや講座などの生涯学習のしやすさ	生涯学習
39.	青少年の健全育成への取り組み	青少年の育成
40.	文化・芸術活動のしやすさ	文化・芸術
41.	スポーツ活動のしやすさ	スポーツ
42.	国内交流・国際交流への取り組み	国内外の交流
43.	「教育・文化・スポーツ・相互交流」全体について	「教育・文化・スポーツ・相互交流」全体
44.	市政への参加のしやすさ	市政参加
45.	広報誌やホームページによる市民サービス	広報
46.	市役所の窓口などのサービス	市政サービス
47.	「市民と行政との協働や行政サービス」全体について	「市民と行政との協働や行政サービス」全体

(2) 満足度一覧

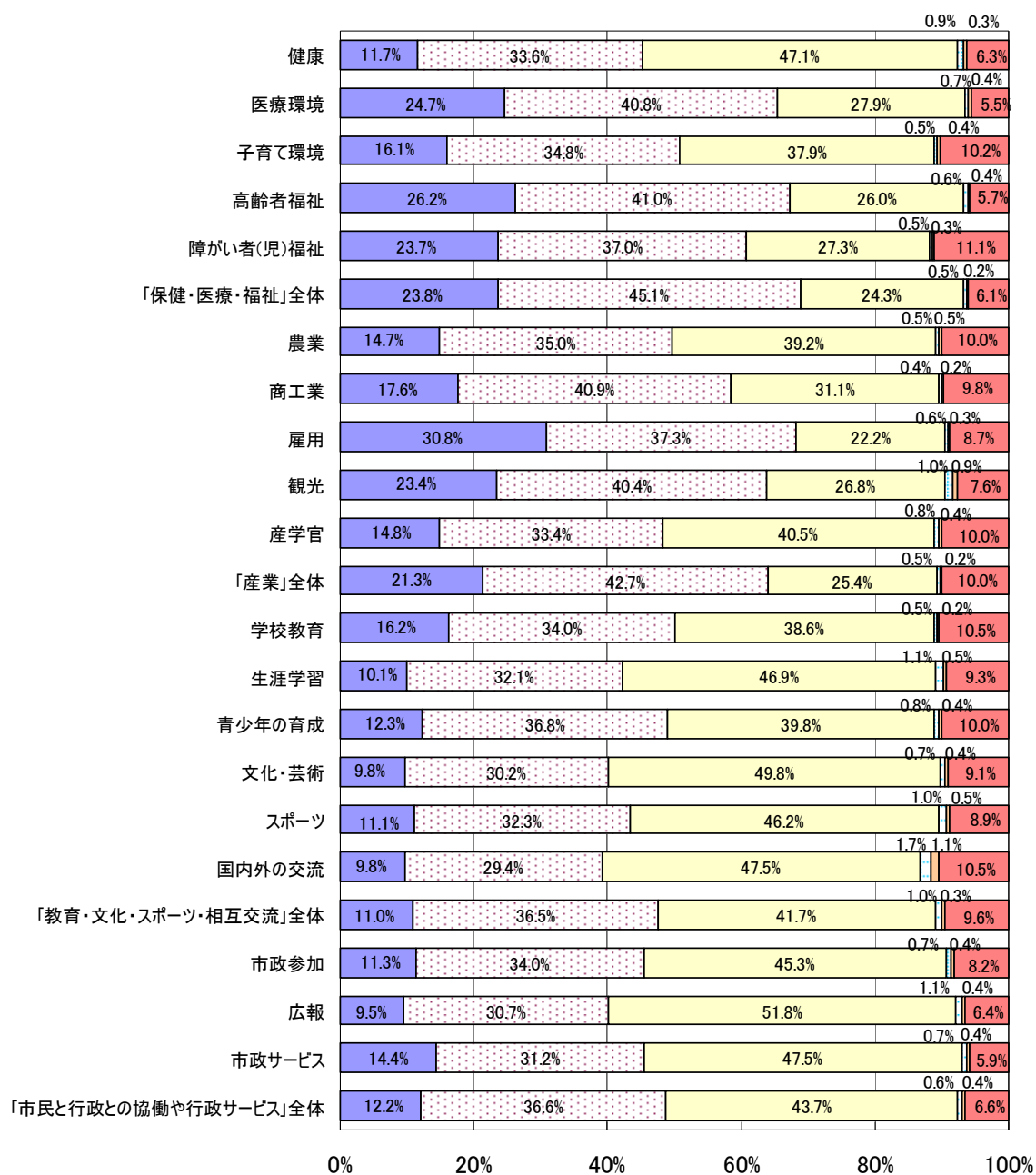




(3) 重要度一覧



■ 力を入れてほしい ▨ できれば力を入れてほしい ■ 今のままでよい
▨ あまり力を入れる必要はない ■ 力を入れる必要はない ■ 無回答



2 調査票

江別市まちづくり市民アンケート調査

～市民意識調査へのご協力をお願い～

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

江別市では、平成 16 年に策定した「第 5 次江別市総合計画」の計画期間が、平成 25 年度に終了することから、平成 26 年度よりスタートする新しい総合計画の策定を始めました。

新しい総合計画は、将来を的確に見通していくことがとても難しい社会情勢の中で、自治体が対応しなければならない大きな課題に適切に対応し、誰もが安心して住みやすいまちづくりを実現していくための羅針盤ともなる長期的な指針です。

また、新しい総合計画の策定に併せて「江別市都市計画マスタープラン」の見直し作業に着手します。

都市計画マスタープランは、都市づくりの基本方針として平成 16 年(計画期間 20 年)に策定されましたが、その後の人口減少社会の到来や少子高齢化の進展など社会・経済情勢が大きく変化したこと、また、新しい総合計画と整合性を図る必要性があることから、見直し作業を行うこととしました。

このアンケート調査は、新しい総合計画と都市計画マスタープランそれぞれの策定・見直し作業を進めるにあたり、「江別市自治基本条例」の理念に基づき、多くの市民の意見を反映させるべく、市の現状に対する市民の皆様の満足度や、将来のまちづくりに対する考え方などを把握するために実施するものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、アンケート調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 23 年 10 月 江別市長 三 好 昇

< ご回答にあたっての留意事項 >

- このアンケート調査は江別市内に在住する 18 歳以上の方を対象として、無作為に抽出した 5,000 人の方をお願いしています。
- ご回答は、宛名のご本人がお答えください。
- 回答は、設問の説明に沿ってボールペンや鉛筆などで○印を付けてください。
(文字の記入が必要な設問もあります。)
- 設問によって○印を付ける数が異なりますので、ご注意願います。
- アンケート調査の結果は、統計的に処理し、目的以外に使用することはありません。
- ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に入れていただき、平成 23 年 10 月 21 日(金)までに郵便ポストにご投函ください。
(返信用封筒には、切手を貼る必要も、またお名前を記入する必要もありません。)

< お問い合わせ先 >

- 【新しい総合計画について】 企画政策部 政策調整課(総合計画担当)
電話:011-381-1295/FAX:011-381-1070
Eメール:sogokeikaku@city.ebetsu.lg.jp
- 【都市計画マスタープランについて】 企画政策部 都市計画課
電話:011-381-1038/FAX:011-381-1071
Eメール:tosikei@city.ebetsu.lg.jp

アンケート調査回答票

ご回答後、この調査票を同封の返信用封筒で切手を貼らずに郵送願います。

■江別市での生活や住み心地についてお聞きします。

問1 あなたは、江別市の住み心地についてどう思いますか。1つだけ選んで番号に○印を付けてください。

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 満足 | 2. ほぼ満足 | 3. ふつう |
| 4. やや不満 | 5. 不満 | 6. わからない |



問2 あなたは、これからも江別市に住みたいと思いますか。1つだけ選んで番号に○印を付けてください。


- | | | |
|----------------|--------------|---------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 2. できるなら住みたい | 3. いずれは引っ越したい |
| 4. すぐにでも引っ越したい | 5. わからない | |

■江別市の取り組みについてお聞きします。



問3 毎日の暮らしの中で、江別市の生活環境や行政サービスなどについて満足していますか。また、それらについて今後江別市が取り組むにあたって、どのくらい重要だとお考えですか。

次の各項目について、あなたのお考えにいちばん近い「現在の満足度」の数値と「今後の重要度」の記号をそれぞれ1つずつ選んで番号に○印を付けてください。

内 容	現在の満足度					今後の重要度				
	とても満足	やや満足	ふつう	やや不満	とても不満	力を入れてほしい	できれば力を入れてほしい	今のままでよい	あまり力を入れる必要はない	力を入れる必要はない
  評 価										
1 生活環境に関する項目										
(1) ごみの収集処理やリサイクルへの取り組み	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(2) 自然環境保全への取り組み	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(3) 女性の社会参加のしやすさ	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(4) コミュニティ活動やボランティア活動のしやすさ	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(5) 自治会など市民活動のしやすさ	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(6) 交通安全への取り組み	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(7) 防犯への取り組み	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(8) 自然災害などに対する安全性	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(9) 消防・救急救命体制の状況	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(10) 以上9項目の満足度と重要度をもとに「生活環境」全体についての現在の満足度と今後の重要度をお答えください	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E

 裏面に続きます

問3の続き

 内 容	現在の満足度					今後の重要度				
	とても満足	やや満足	ふつう	やや不満	とても不満	力を入れてほしい	できれば力を入れてほしい	今のままでよい	あまり力を入れる必要はない	力を入れる必要はない
 評 価										



2 都市づくりに関する項目

(11) 身近な公園の整備状況	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(12) レジャーや運動などに使える大きな公園の整備状況	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(13) 身近な生活道路の整備状況	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(14) 国道や道道など他市町村へつながる幹線道路の整備状況	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(15) 徒歩や自転車での移動のしやすさ	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(16) 公共施設や公共空間などのバリアフリー化	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(17) 道路や歩道の除排雪の状況	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(18) 公共交通機関（JR・バス）の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(19) 日用品（食料品など）の買い物のしやすさ	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(20) 駅周辺など市街地のにぎわい	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(21) 住宅環境の快適性（日照、通風、静寂さなど）	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(22) レンガの活用や緑・花が調和した街並み（景観）	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(23) 水道水の供給と下水道の整備状況	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(24) 以上 13 項目の満足度と重要度をもとに「都市づくり」全体についての現在の満足度と今後の重要度をお答えください	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E

3 保健・医療・福祉に関する項目

(25) 健康づくりへの取り組み	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(26) 病院や医師などの医療環境の状況	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(27) 保育サービスなどの子育てのしやすさ	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(28) 高齢者の生活のしやすさ	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(29) 障がい者（児）の生活のしやすさ	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(30) 以上5項目の満足度と重要度をもとに「保健・医療・福祉」全体についての現在の満足度と今後の重要度をお答えください	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E

問3の続き

 内 容	現在の満足度					今後の重要度				
	とても満足	やや満足	ふつう	やや不満	とても不満	力を入れてほしい	できれば力を入れてほしい	今のままでよい	あまり力を入れる必要はない	力を入れる必要はない
 評 価										

4 産業に関する項目

(31) 農業の振興への取り組み	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(32) 商工業の振興への取り組み	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(33) 企業誘致や雇用機会の創出への取り組み	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(34) 観光やイベントの魅力	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(35) 産学官(民間企業と大学・研究機関、行政)の連携	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(36) 以上5項目の満足度と重要度をもとに「産業」全体についての現在の満足度と今後の重要度をお答えください	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E

5 教育・文化・スポーツ・相互交流に関する項目

(37) 小・中学校の教育環境の状況	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(38) 各種サークルや講座などの生涯学習のしやすさ	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(39) 青少年の健全育成への取り組み	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(40) 文化・芸術活動のしやすさ	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(41) スポーツ活動のしやすさ	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(42) 国内交流・国際交流への取り組み	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(43) 以上6項目の満足度と重要度をもとに「教育・文化・スポーツ・相互交流」全体についての現在の満足度と今後の重要度をお答えください	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E

6 市民と行政との協働や行政サービスに関する項目

(44) 市政への参加のしやすさ	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(45) 広報誌やホームページによる市民サービス	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(46) 市役所の窓口などのサービス	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E
(47) 以上3項目の満足度と重要度をもとに「市民と行政との協働や行政サービス」全体についての現在の満足度と今後の重要度をお答えください	1	2	3	4	5	A	B	C	D	E

裏面に続きます

■あなたの暮らしのことについてお聞きします。

問4 日常生活での「行き先」と「移動手段」についてお伺いします。

(1) 日用品（食料品など）の買い物についてお伺いします。最も多いと思う内容を**それぞれ1つずつ選んで**番号に○印を付けてください。

行き先	1. 江別市内	2. 札幌市都心部（札幌駅・大通・すすきの周辺）		
	3. 札幌市（都心部以外）	4. 北広島市		
	5. 岩見沢市	6. その他市町村（ ）		
移動手段	1. 徒歩	2. 自転車	3. 車・バイク	4. バス
	5. JR	6. タクシー	7. その他（ ）	

(2) 非日用品（衣料品や贈答品など）の買い物についてお伺いします。最も多いと思う内容を**それぞれ1つずつ選んで**番号に○印を付けてください。

行き先	1. 江別市内	2. 札幌市都心部（札幌駅・大通・すすきの周辺）		
	3. 札幌市（都心部以外）	4. 北広島市		
	5. 岩見沢市	6. その他市町村（ ）		
移動手段	1. 徒歩	2. 自転車	3. 車・バイク	4. バス
	5. JR	6. タクシー	7. その他（ ）	

(3) 病院などへの通院についてお伺いします。最も多いと思う内容を**それぞれ1つずつ選んで**番号に○印を付けてください。

行き先	1. 江別市内	2. 札幌市都心部（札幌駅・大通・すすきの周辺）		
	3. 札幌市（都心部以外）	4. 北広島市		
	5. 岩見沢市	6. その他市町村（ ）		
移動手段	1. 徒歩	2. 自転車	3. 車・バイク	4. バス
	5. JR	6. タクシー	7. その他（ ）	

問5 日常生活での「歩いていける範囲」についてお伺いします。

(1) 歩いていける範囲はどれくらいだと思いますか。**1つだけ選んで**番号に○印を付けてください。

1. 片道5分（約400m）以内	2. 片道10分（約800m）以内
3. 片道15分（約1.2km）以内	4. 片道30分（約2.4km）以内
5. 片道30分（約2.4km）超	

(2) 歩いていける範囲に必要なと思う施設について**3つまで選んで**番号に○印を付けてください。

1. スーパー	2. コンビニ	3. 商店街	4. 飲食店	5. 金融機関
6. 病院	7. 福祉施設	8. 子育て支援施設	9. 文化施設	
10. 公園・緑地	11. JR駅	12. バス停	13. その他（ ）	

■江別市の将来についてお聞きします。


問6 あなたが望む将来の江別市のイメージとしてふさわしいと考えるものを**3つまで選んで**番号に○印をつけてください。

1. 子どもたちが地域で安心、安全に暮らせる子育て応援のまち
2. 高齢者や障がい者など、すべての人が安心して暮らせる福祉のまち
3. 医療体制や健康づくりの充実した健康のまち
4. 事故や犯罪が少なく、災害に強い安全なまち
5. 身近な自然に親しめ、地球にやさしい環境共生のまち
6. 道路や公園など市街地の整備が行われ、快適に居住できる暮らしのまち
7. さまざまな産業の活動が行われる産業のまち
8. 多くの人を訪れ、賑わいのある観光のまち
9. 学習環境が整い、多様な人材が育つ教育のまち
10. 芸術・文化活動、スポーツ活動の盛んな文化・スポーツのまち
11. 地域活動やボランティア活動などが盛んな市民活動のまち
12. 市民の力で自主的にまちづくりを進める市民自治のまち
13. 国際交流が活発で、外国人市民が暮らしやすい国際化のまち
14. その他（具体的に： _____)

問7 人口減少や少子高齢化の一層の進展などが想定される上で、今後の市街地開発の方向性についてお伺いします。あなたのお考えに一番近いものを**1つだけ選んで**番号に○印を付けてください。

1. 既存の市街地を有効に利用することで市街地の拡大を抑制する「コンパクトな都市づくり」を目指す。
2. 上の「1」を基本としつつも、産業の振興に限定した市街地の拡大を容認する都市づくりを目指す。
3. 積極的に市街地を拡大し、人口増加、産業振興などを図る「市街地拡大型の都市づくり」を目指す。
4. わからない。

問8 新しい総合計画の策定にあたって、およそ10年後の江別市の「望ましい姿」・「目指すべき姿」・「進むべき道すじ」・「まち（都市）づくり」などについて、ご意見・ご提案がありましたら、**ご自由にお書き**ください。

 裏面に続きます

問 15 江別市に住んでいる期間についてお伺いします。**1つだけ選んで**番号に○印を付けてください。

- | | | |
|----------|---------------|----------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年以上 10年未満 | 3. 10年以上 20年未満 |
| 4. 20年以上 | | |


問 16 江別市に住むようになった理由についてお伺いします。該当する内容のものを**いくつでも選んで**番号に○印をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|--------------------|
| 1. 実家がある(あった)から | 2. 就職・転勤・進学などの関係で |
| 3. 結婚した夫(妻)が住んでいたから | 4. 家族・親戚などが住んでいたから |
| 5. 買い物など日常生活に便利だから | 6. 通勤・通学などに便利だから |
| 7. 病院などへの通院に便利だから | 8. 居住環境が良かったから |
| 9. 教育・子育て環境が良かったから | |
| 10. 希望する物件(土地・戸建・マンション・賃貸など)があったから | |
| 11. その他() | |

問 17 あなたは、江別市の計画づくりやまちづくりの取り組みに意見を出したり、活動したりすることについてどう思いますか。**1つだけ選んで**番号に○印をつけてください。

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 積極的に行きたい | 2. 機会があれば行きたい |
| 3. あまり行わず、行政に任せたい | 4. わからない |



 裏面に続きます

問 18 前のページの「問 17」で「1」または「2」と回答された方のみにお聞きします。
江別市の計画づくりやまちづくりの取り組みについて、どのように関わりたいと思
いますか。(いくつでも選んで番号に○印をつけてください。)

1. 審議会や委員会などのメンバーとして参加したい
2. 市が開催する住民との話し合いの場に参加したい
3. インターネットや手紙などで意見募集の機会に意見を出したい
4. 自治会など地域のまちづくり活動への参加を通じて関わりたい
5. NPOなどの市民活動団体への参加を通じて関わりたい
6. その他()

上の設問「問 18」で「1. 審議会や委員会などのメンバーとして参加したい」に○
印をつけた方へお願いがあります。

江別市では、新しい総合計画の策定に協力して下さる市民の方を募集します。具
体的には、平成24年1月から約半年間において「(仮称)総合計画策定市民会議」に
概ね月に1回程度参加していただくことになります。(参加者には、当市で定めた報酬
と交通費をお支払いいたします。) 会議の日程につきましては、お仕事の時間帯の都
合等を配慮して開催していきたいと存じます。

市民の皆さまの声を市の総合計画に反映させる大切な機会ですので、多くの市民の
方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

ご協力いただける方は、下記に氏名・住所等の必要事項をご記入ください。

※ 希望者多数の場合は、抽選となる場合がありますのでご了承ください。

氏名： _____ 年齢 _____ 歳
住所： 〒 _____
江別市 _____
連絡先電話番号： _____

問 19 前のページの「問 17」で「3. あまり行わず、行政に任せたい」と回答された方
のみにお聞きします。市の計画づくりやまちづくりの取り組みにあまり関わりたくな
い理由は何ですか。(1つだけ選んで番号に○印をつけてください。)

1. 興味、関心がないから
2. 仕事や家庭の事情などで忙しく時間がないから
3. 行政の役割であり、行政が行うべきだから
4. 意見を言ったり、活動に参加したりする手段がわからないから
5. 意見を言っても反映されないと思うから
6. 市の計画や取り組みに関する情報が少なくわからないから
7. その他()

ご協力ありがとうございました。

この回答票は、同封の返信用の封筒に入れて**10月21日(金)まで**に、切手を貼らずに
ポストに投函してください。